

令和6年度 宮崎森林管理署都城支署 公共工事契約状況

令和7年3月4日

分任支出負担行為担当官  
宮崎森林管理署都城支署長 白濱 正明

工 事 名		施 工 場 所		工事種別	工事概要	入札方式
令和6年度 内ノ木林道柳岳支線災害復旧工事		宮崎県北諸県郡三股町地内		林道工事	災害復旧工事 延長 103.7m 幅員 3.6m	一般競争入札 (総合評価落札方式)
予定価格(税抜き)	調査基準価格(税抜き)	契約年月日		契約相手方の商号又は名称及び住所		
16,763,000円	15,045,160円	令和7年3月4日		宮崎県都城市中原町27-5 株式会社 財部組		
契約金額(税抜き)	工事着手の時期	工事完成の時期				
16,700,000円	令和7年4月	令和7年10月				

○予算決算及び会計令（昭和22年勅令第165号。以下「予決令」という。）第73条の規定に基づく競争参加資格

別添「入札公告」のとおり

○競争に参加しようとした者の商号又は名称並びにそのうち競争に参加させなかった者の商号又は名称及びその者を参加させなかった理由

別紙「競争参加資格確認結果書」（別添1）のとおり

○入札者の商号又は名称及び各入札者の各回の入札金額

別紙「入札執行調書」（別添2）のとおり

○予定価格の作成に用いた積算価格についての内訳

別紙「工事積算内訳書」（別添3）のとおり

入札公告（森林土木工事）（総合評価落札方式）

次のとおり一般競争入札（政府調達対象外）に付します。

令和7年1月24日

分任支出負担行為担当官  
宮崎森林管理署都城支署長 白濱 正明

1 工事概要

（１）工事名 令和6年度 内ノ木場林道柳岳支線災害復旧工事

（２）工事場所 宮崎県北諸県郡三股町地内

（３）工事内容 延長 災1 103.7m  
擁壁工 コンクリート擁壁 17.7m<sup>3</sup> 大型ブレーカ床掘Ⅱ 軟岩ⅠB  
13.00m<sup>3</sup> 大型ブレーカ床掘Ⅱ 軟岩Ⅱ 13.00m<sup>3</sup> 基面整正  
8.30m<sup>2</sup> 埋戻 100m 13.00m<sup>3</sup> 埋戻D 100m 1.10m<sup>3</sup>  
舗装工 コンクリート路面工 320.90m<sup>2</sup>  
かご工 かご枠工 1式  
土工 バックハウ掘削(採掘積込、積込) 23.00m<sup>3</sup> 軟岩(Ⅰ)B 切土  
23.00m<sup>3</sup> 運搬盛土 100m 42.00m<sup>3</sup> 残土処理 1000m<sup>3</sup>  
15.00m<sup>3</sup> 崩土石除去 1000m 583.00m<sup>3</sup>  
その他工種 現道補修 1式

（４）工期 契約締結日の翌日から令和7年10月23日まで  
（工期は、「4週8休」を標準として設定）

令和7年4月22日（工事着手期限）までに工事を開始すること。

本工事は、受注者の施工体制の確保及び建設資材の確保を図るため、余裕期間を見込んだ工事であり、工事着手期限までの間で、受注者は工事の着手日を任意に設定することができる。

契約締結の日から工事着手日の前日までの間は余裕期間となり、余裕期間内は技術者を配置することを要しない。

また、余裕期間内に施工体制等の確保及び建設資材の確保が図られた場合は、監督職員との協議により工事着手できるものとする。なお、余裕期間内に工事着手した場合においても、工期の終期の変更は行わない。

（５）本工事は、総合評価落札方式（簡易型）における提出資料の簡素化（技術提案の施工計画の省略）や技術審査・評価の効率化を図り、価格以外の要素と価格を総合的に

評価して落札者を決定する工事である。

- (6) 本工事は、品質確保のための体制その他の施工体制の確保状況を確認し、施工内容を確実に実現できるかどうかについて審査し、評価を行う施工体制確認型総合評価落札方式の工事である。
- (7) 本工事は、入札等を電子入札システムにより行う対象工事である。なお、電子入札システムによりがたいものは、発注者の承諾を得て紙入札方式に代えることができる。
- (8) 本工事は、「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」（平成 12 年法律第 104 号）に基づき、分別解体及び特定建設資材廃棄物の再資源化等の実施が義務づけられた工事である。
- (9) 本工事は、賃上げを実施する企業に対して総合評価における加点を行う工事である。
- (10) 本工事は、週休 2 日を促進するため、現場閉所による週休 2 日に取り組むことを前提として直接工事費及び間接工事費の一部を補正して実施する試行工事（発注者指定方式）である。  
契約締結後、週休 2 日を確保して実施するものとし、その取組状況に応じ林野庁工事成績評定要領（平成 10 年 3 月 31 日付け 10 林野管第 31 号林野庁長官通知）に基づく工事成績評定において評価を行うとともに、週休 2 日の取組実績証明書を発行する。
- (11) 本工事は、令和 6 年 3 月 1 日以降の労務単価を適用して予定価格を積算していることから、令和 7 年 3 月から適用する公共工事設計労務単価が決定された場合、特例措置に基づく請負代金の変更が可能となる場合がある。  
決定された場合は九州森林管理局ホームページ  
[https://www.rinya.maff.go.jp/kyusyu/tisan/announce/sekisan\\_kouhyou.html#290327](https://www.rinya.maff.go.jp/kyusyu/tisan/announce/sekisan_kouhyou.html#290327)  
でお知らせするので確認すること。
- (12) 本工事は、翌年度にわたる債務負担に係る承認を得、予算執行手続きが整ったことを条件とする工事であり、入札日までに予算執行手続きが整わなかった場合は、本工事の入札の執行を中止する場合がある。

## 2 競争参加資格

- (1) 「予算決算及び会計令」（昭和 22 年勅令第 165 号）第 70 条及び第 71 条の規定に該当しない者であること。なお、未成年者、被保佐人又は被補助人であって、契約締結のために必要な同意を得ている者は、第 70 条中、特別の理由がある場合に該当する。
- (2) 九州森林管理局における土木一式工事に係る B、C 又は D 等級の一般競争参加資格の

認定を受けていること。ただし、D等級においては資格点数が1,000点以上の格付者であること（注：B等級の場合は削除）（「会社更生法」（平成14年法律第154号）に基づき更生手続き開始の申立てがなされている者又は「民事再生法」（平成11年法律第225号）に基づき再生手続き開始の申立てがなされている者については、手続き開始の決定後、九州森林管理局長が別に定める手続に基づく一般競争参加資格の再確認を受けていること。）。

（3）「会社更生法」に基づき更生手続き開始の申立てがなされている者又は「民事再生法」に基づき再生手続き開始の申立てがなされている者（上記（2）の再確認を受けた者を除く。）でないこと。

（4）平成21年度以降公告日の前日までに元請として、次に示す森林土木工事を施工した実績を有すること（共同企業体の構成員としての実績は、出資比率が20%以上の場合のものに限る。）。

なお、当該実績が森林管理局長、森林管理署長、森林管理署支署長、森林管理事務所長、治山センター所長及び総合治山事業所長（以下「森林管理局長等」という。）が発注した工事のうち、入札説明書に示すものに係る実績である場合にあっては、「林野庁工事成績評定要領」（平成10年3月31日付け10林野管第31号林野庁長官通知）第4の3に規定する工事成績評定表の評定点合計（以下「評定点合計」という。）が65点未満のものを除く。

経常建設共同企業体にあっては、全ての構成員が上記の基準を満たす施工実績を有すること。

- ・ 森林土木工事：① 治山関係事業（溪間工事、山腹工事、地すべり工事、海岸防災林造成の工事）の工事  
② 林道の新設工事若しくは改良工事若しくは災害復旧工事又は保安林管理道の新設工事若しくは改良工事若しくは災害復旧工事  
③ 林道規定に定める自動車道2級以上に相当する作業道の新設工事のうち、いずれかの工事

（5）「建設業法」（昭和24年法律第100号）に基づく「主任技術者又は監理技術者」（以下「主任（監理）技術者」という。）の配置については、次に掲げる基準を満たす主任（監理）技術者を配置できること。

ただし、本工事において、現場施工に着手するまでの期間及び工事完成後、検査が終了し事務手続き、後片付け等のみが残っている期間については、必ずしも主任技術者又は監理技術者の専任の配置は要しない。

- ① 技術士（建設部門又は森林部門（選択科目を「森林土木」とするものに限る。））、2級土木施工管理技士、2級建設機械施工技士又は林業技士（森林土木部門に限

る。)以上の資格を有する者であること。

- ② 平成 21 年度以降公告日の前日までに、森林土木工事において、次の職務の経験を有する者であること。ただし、交代等により全工期（余裕期間は除く）のうち半分未満の経験を有する者は該当しない。

なお、当該実績が森林管理局長等が発注した工事のうち、入札説明書に示すものに係る実績である場合にあっては、評定点合計が 65 点未満のものを除く。

ア 主任（監理）技術者

イ 主任（監理）技術者の下で行った工程管理、出来形管理、品質管理及び安全管理のうち、いずれか 2 以上の職務の経験のある者

ウ 現場代理人

- ・森林土木工事：① 治山関係事業（溪間工事、山腹工事、地すべり工事、海岸防災林造成の工事）の工事  
② 林道の新設工事若しくは改良工事若しくは災害復旧工事又は保安林管理道の新設工事若しくは改良工事若しくは災害復旧工事  
③ 林道規程に定める自動車道 2 級以上に相当する作業道の新設工事のうち、いずれかの工事

- ③ 監理技術者にあっては、監理技術者資格者証及び監理技術者講習修了証を有する者であること。

ただし、監理技術者の行うべき職務を補佐する者として、監理技術者資格者証及び監理技術者講習修了証を有する者等を除く基準をすべて満たす者を当該工事現場に専任で配置する場合は、2 現場を限度として兼務できることとする。

なお、主任技術者の専任に係る取り扱いについては、工作物に一体性若しくは連続性のある工事又は施工にあたり相互に調整を必要とする工事で、かつ、工事の施工管理区域間隔が 10 km 程度又は移動時間 60 分程度の接近した場所において、同一の建設業者が施工する場合には、建設業法施行令第 27 条第 2 項が適用できるものとする。

この場合において、主任技術者が管理することができる工事の数は、専任が必要な工事について、原則 3 件程度とする。（監理技術者には適用しない）

- (6) 競争参加資格確認申請書、競争参加資格確認資料及び総合評価資料（以下「申請書等」という。）の提出期限の日から開札の時までの期間に、九州森林管理局長から「工事請負契約指名停止等措置要領の制定について」（昭 59 年 6 月 11 日付け 59 林野経第 156 号林野庁長官通知。以下「工事請負契約指名停止等措置要領」という。）に基づく指名停止を受けていないこと。

- (7) 森林管理局長等が発注した森林土木工事で、過去 3 年間（令和 3 年 4 月 1 日から令和 6 年 3 月 31 日まで）に完成した工事で工事成績評定を受けた工事がある場合においては、当該工事に係る評定点合計の平均が 65 点以上であること。

(8) 上記 1 に示した工事に係る設計業務等の受託者又は当該受託者と資本若しくは人事面において関連がある建設業者でないこと。

(9) 入札に参加しようとする者の間に資本関係又は人的関係がないこと（資本関係又は人的関係がある者のすべてが共同企業体の代表者以外の構成員である場合を除く。）（入札説明書を参照のこと。）。

(10) 「建設業法」に基づく本店又は支店若しくは営業所が、九州森林管理局管内の市町村に所在すること。

また、経常建設共同企業体として資料を提出する場合は、有資格者名簿に記載されている共同企業体の本店所在地が、九州森林管理局管内の市町村に所在すること。

(11) 「農林水産省発注工事等からの暴力団排除の推進について」（平成 19 年 12 月 7 日付け 19 経第 1314 号大臣官房経理課長通知）に基づき、警察当局から部局長に対し、暴力団員が実質的に経営を支配する建設業者又はこれに準ずるものとして、農林水産省発注工事等からの排除要請があり、当該状態が継続している者でないこと。

(12) 以下に定める届出の義務を履行していない建設業者（当該届出の義務がない者を除く。）でないこと。

- ・健康保険法（大正 11 年法律第 70 号）第 48 条の規定による届出の義務
- ・厚生年金保険法（昭和 29 年法律第 115 号）第 27 条の規定による届出の義務
- ・雇用保険法（昭和 49 年法律第 116 号）第 7 条の規定による届出の義務

(13) 下請契約等からの社会保険等未加入建設業者の排除等

工事を施工するために締結した全ての下請契約について、受注者は、原則として、社会保険等未加入建設業者を下請契約の相手方にすることはできない。（ただし、適用除外者は除く。）

### 3 競争参加資格の確認等

(1) 本競争の参加希望者は、上記 2 に掲げる競争参加資格を有することを証明するため、次に掲げるところに従い、申請書等を提出し、分任支出負担行為担当官から競争参加資格の有無について確認を受けなければならない。

(2) 申請書等の提出期間、場所及び方法

- ① 提出期間：令和 7 年 1 月 27 日から令和 7 年 2 月 7 日までの土曜日、日曜日及び祝日等の行政機関の休日を除く毎日、9 時から 17 時までとする。  
なお、最終日の令和 7 年 2 月 7 日は 15 時までとする。
- ② 提出先：〒885-0035 宮崎県都城市立野町 3655-1  
宮崎森林管理署都城支署 総務グループ

電話 0986-23-4566

メールアドレス：E-mail：ky\_miyakonojyou@maff.go.jp

- ③ そ の 他：電子入札システムを用いて提出すること。詳細は入札説明書によるものとし、郵送又はFAXによるものは受け付けない。ただし、承諾を得て紙入札による場合は②の場所に持参すること。

(3) 申請書等は入札説明書により作成すること。

(4) 上記(2)に規定する期限までに申請書等を提出しない者又は競争参加資格がないと認めた者は本競争に参加できない。

(5) 省略を認める書類

過去3年間（令和3年4月1日から令和6年3月31日まで）に完成した工事で森林管理局長等発注の森林土木工事に係る工事成績評定通知書（写）の添付については、本公告による競争参加資格申請が今年度の2回目以降の申請であり、既に前回までの申請書に添付している場合には、様式に工事名、工事成績評定点等を記載した上で「〇〇森林管理（局、（支）署）令和〇〇年〇〇月〇〇日入札の〇〇工事において提出済み」と記載すれば再度の添付を要しない。（入札説明書を参照のこと）

#### 4 施工体制確認型総合評価落札方式に関する事項

(1) 施工体制確認型総合評価落札方式の仕組み

本工事の施工体制確認型総合評価落札方式は次の方法により落札者を決定する方式とする。

- ① 入札説明書に示された競争参加資格を満たしている場合に、標準点100点を付与する。
- ② 上記3(1)の総合評価資料により示された実績等により最大30点の加算点及び最大30点の施工体制評価点を付与する。
- ③ 付与された標準点、加算点及び施工体制評価点の合計を当該入札者の入札価格で除して算出した値（以下「評価値」という。）を用いて落札者を決定する。

その評価項目等の概要は、次に示すとおりとするが、具体的な技術的要件及び入札の評価に関する基準等については、入札説明書において明記している。

(2) 評価項目

評価項目は、次に示すとおりである。

- ① 施工能力等に関する事項
- ② 信頼性・社会性に関する事項
- ③ 施工体制（品質確保の実効性、施工体制確保の確実性）に関する事項

なお、①及び②の項目で最大30点の加算点、③の項目で最大30点の施工体制評価点とする。

### (3) 落札者の決定の方法

入札参加者は価格をもって入札する。標準点に加算点を加えた点数をその入札価格で除して得られる評価値（評価値＝{(標準点＋加算点＋施工体制評価点)／(入札価格)}）を算出し、次の条件を満たした者のうち、算出した評価値が最も高い者を落札者とする。ただし、予定価格が1千万円を超える工事について、落札者となるべき者の入札価格によっては、その者により当該契約の内容に適合した履行がなされないおそれがあると認められるとき又はその者と契約を締結することが公正な取引の秩序を乱すこととなるおそれがある著しく不適当であると認められるときは、入札価格が予定価格の制限の範囲内で、発注者の求める最低限の要求要件をすべて満たして入札した他の者のうち、評価値が最も高い者を落札者とすることがある。

- ① 入札価格が予定価格の制限の範囲内であること。
- ② 評価値が標準点（100点）を予定価格で除した数値「基準評価値」を下回らないこと。

## 5 入札手続等

### (1) 担当部局

〒885-0035 宮崎県都城市立野町 3655-1  
宮崎森林管理署都城支署 総務グループ  
電話 0986-23-4566  
メールアドレス：E-mail：ky\_miyakonojyou@maff.go.jp

### (2) 入札説明書等の配布期間、場所及び方法

入札説明書等（図面類を含む。）は、本公告の日から入札日の前日までの期間において電子入札システムを用いて入手できる。

なお、電子入札システムによりがたい場合は次に掲げるところによる。

- ① 配布期間：令和7年1月24日から令和7年2月25日までの土曜日、日曜日及び祝日等の行政機関の休日を除く毎日、9時から17時まで（12時から13時までを除く。）とする。
- ② 場 所：〒885-0035 宮崎県都城市立野町 3655-1  
宮崎森林管理署都城支署 総務グループ  
電話 0986-23-4566
- ③ 図面類は閲覧によること。
- ④ 配布資料は無料である。

### (3) 入札及び開札の日時、場所及び提出方法

入札書は電子入札システムにより提出すること。ただし、やむを得ない事情により発注者の承諾を得た場合は、紙入札方式による入札書を持参すること。なお、郵送等による提出は認めない。

- ① 電子入札システムによる入札の締切りは、令和7年2月26日13時30分。
- ② 紙入札方式により入札の締切りは、令和7年2月26日13時30分とし、宮崎森



林管理署都城支署入札室において入札。

- ③ 開札は、令和 7 年 2 月 26 日 13 時 35 分に、宮崎森林管理署都城支署入札室において行う。
- ④ 紙入札方式による入札の執行に当たっては、分任支出負担行為担当官により競争参加資格があると確認された旨の通知書の写し及び委任状がある場合は委任状を持参すること。

## 6 その他

### (1) 手続において使用する言語及び通貨

日本語及び日本国通貨に限る。

### (2) 入札保証金及び契約保証金

#### ① 入札保証金 免除

- ② 契約保証金 納付（保管金の取扱店 日本銀行宮崎代理店）。ただし、金融機関又は保証事業会社（「公共工事の前払金保証事業に関する法律」（昭和 27 年法律第 184 号）第 2 条第 4 項に規定する保証会社をいう。）の保証（取扱官庁 宮崎森林管理署都城支署）をもって契約保証金の納付に代えることができる。

また、公共工事履行保証証券による保証を付した場合又は履行保証保険契約の締結を行った場合には、契約保証金の納付を免除する。

### (3) 工事費内訳書の提出

第 1 回の入札に際し、第 1 回の入札書に記載される入札金額に対応した工事費内訳書を電子入札システムにより提出すること。紙入札方式による場合は、入札書とともに工事費内訳書を提出すること。

なお、当該工事費内訳書の提出のない者のした入札、及び不備等があった者の入札は無効とする。

### (4) 入札の無効

本公告に示した競争参加資格のない者のした入札、申請書等に虚偽の記載を行った者のした入札及び入札に関する条件に違反した入札は無効とする。

この場合には、「工事請負契約指名停止等措置要領」第 1 第 1 項の規定に基づく指名停止又は第 10 の規定に基づく書面若しくは口頭での警告若しくは注意の喚起を行うことがある。

### (5) 配置予定主任（監理）技術者の確認

落札者決定後、財団法人日本建設情報総合センターの「工事实績情報システム（CORINS）」等により配置予定の主任（監理）技術者の専任制違反の事実が確認された場合には、契約を締結しないことがある。

なお、種々の状況からやむを得ないものとして承認された場合のほかは、配置予定主任（監理）技術者の変更は認めない。

- (6) 低入札価格調査を受けた者と契約する場合は、建設業法の定めにより配置する技術者とは別に2の(5)に定める要件と同一の要件を満たす技術者を専任で1名現場に配置することとする。
- (7) 契約書作成の要否  
作成を要する。
- (8) 関連情報を入手するための照会窓口  
上記5(1)に同じ。
- (9) 一般競争参加資格の認定を受けていない者の参加  
上記2(2)に掲げる一般競争参加資格の認定を受けていない者も上記3(2)により申請書等を提出することができる。ただし、競争に参加するには、開札の時に於いて、当該資格の認定を受け、かつ競争参加資格の確認を受けていなければならない。
- (10) 申請書等の内容のヒアリング  
原則として行わない。ただし、ヒアリング実施の必要が生じた場合は別途通知する。
- (11) 施工体制確認のためのヒアリング  
施工体制確認のためのヒアリングを実施するとともに、その際、追加資料の提出を求めることがある。
- (12) 本案件は、入札及び資料の提出等を電子入札システムにより行うものであり、詳細については、入札説明書及び電子入札システム運用基準（平成16年7月 林野庁）による。
- (13) 本公告に係る森林土木工事請負契約における契約約款は、こちらからダウンロードされたい。  
詳しくは当森林管理局のホームページ  
[http://www.rinya.maff.go.jp/kyusyu/kouhyou/keiyaku\\_yakkan/index.html](http://www.rinya.maff.go.jp/kyusyu/kouhyou/keiyaku_yakkan/index.html)  
を確認すること。  
なお、上記ダウンロードをもって契約約款の交付に代え、契約約款の交付日は本公告日とする。
- (14) 農林水産省の発注事務に関する綱紀保持を目的とした、「農林水産省発注者綱紀保持規程」（平成19年農林水産省訓令第22号）第10条及び第11条にのっとり、第三者から以下の不当な働き掛けを受けた場合は、これを拒否し、その内容（日時、相手方及び働き掛けの内容）を記録し、同規定第9条に基づき設置する発注者綱紀保持委員会（以下、「委員会」という。）に報告し、委員会の調査分析において不当な働き

掛けと認められた場合には、当該委員会を設置している機関において閲覧及びホームページにより公表する。

(不当な働き掛け)

- ① 自らに有利な競争参加資格の設定に関する依頼
- ② 指名競争入札において自らを指名すること又は他社を指名しないことの依頼
- ③ 自らが受注すること又は他社に受注させないことの依頼
- ④ 公表前における設計金額、予定価格、見積金額又は低入札価格調査制度の調査基準価格に関する情報聴取
- ⑤ 公表前における総合評価落札方式における技術点に関する情報聴取
- ⑥ 公表前における発注予定に関する情報聴取
- ⑦ 公表前における入札参加者に関する情報聴取
- ⑧ その他の特定の者への便宜又は利益若しくは不利益の誘導につながるおそれのある依頼又は情報聴取

詳しくは当森林管理局のホームページ

<http://www.rinya.maff.go.jp/kyusyu/apply/publicsale/koubo/index.html>

を確認すること。

(別紙1)

## 競争契約参加資格確認結果書

- 1 工事名 令和6年度 内ノ木場林道柳岳支線災害復旧工事
- 2 発注機関名 宮崎森林管理署都城支署
- 3 入札公告日 令和7年1月24日
- 4 競争参加資格確認結果通知日 令和7年2月12日

資格確認申請者	資格の有無	資格がないと認めた理由
株式会社 財部組	有	
丸宮建設 株式会社	有	

(備考) 1 「資格の有無」の欄には、資格があると認めた場合には「有」と記載し、資格がないと認めた場合には「無」と記載する。

2 「資格がないと認めた理由」の欄には、入札公告において示した「競争に参加するものに必要な資格に関する事項」のどの事項を満たさなかったのかを記載すること。

入札執行調書


調達案件番号(第003807012020240013号)				調達案件名称		令和6年度 内ノ木場林道柳岳支線 災害復旧工事			
業者名称	技術評価点					入札第1回			備考
	総計	標準点	技術提案加算点		施工体制評価点	金額	評価値	順位	
			換算加算点 (小計)	企業評価					
(株)財部組	152	100	22	22	30	16,700,000	91.017	1	落札
丸宮建設(株)						17,100,000			
(注)上記金額は、入札者が見積もった金額の110分の100に相当する金額である。									

入札執行月日                      令和07年2月26日

開札結果は上記の金額の通り相違ありません。


執行官

白濱 正明




立会・確認職員

宮川 茂則



山部 勝範



## 本工事費内訳書

費目・工種・種別・細別・規格	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
災害	式	1		8,700,205	費目行
擁壁工 GW-L-L H=1.03m～3.80m L=6.20m	式	1		1,290,383	種別行
コンクリート擁壁 GW-L-L	m3	17,700	63,342	1,121,153	1号代価表 4頁
大型ブレイカ床掘Ⅱ 共1-5 軟岩ⅠB	m3	13	3,508	45,604	2号代価表 5頁
大型ブレイカ床掘Ⅱ 共1-5 軟岩Ⅱ	m3	13	4,086	53,118	3号代価表 6頁
基面整正	m2	8,300	389	3,228	4号代価表 7頁
埋戻 100m 局共1-5 共1-4 改良災害用 5,000m3未満	m3	13	4,692	60,996	5号代価表 8頁
埋戻D 100m 局共1-5 共1-4 改良災害用 5,000m3未満	m3	1,100	5,713	6,284	6号代価表 9頁
舗装工	式	1		2,486,975	種別行
コンクリート路面工 局林1-3 表層工15cm 路盤工10cm	m2	320,900	7,750	2,486,975	7号代価表 10頁
かご工	式	1		1,793,522	種別行
かご砕工 詰石 幅120cm	式	1		1,793,522	8号代価表 11頁
土工	式	1		2,738,325	種別行
バックホ掘削(掘削積込、積込) 地山の掘削 林道工事における5000m3未満 砂・砂質土・粘性土・礫質土 障害なし	m3	23	660	15,180	9号代価表 12頁

【当初】令和6年度 内ノ木場林道柳岳支線災害復旧工事

## 本工事費内訳書

費目・工種・種別・細別・規格	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
軟岩(Ⅰ)B切土 0.80BH 地山5,000m <sup>2</sup> 未満	m <sup>3</sup>	23	1,391	31,993	10号代価表 13頁
運搬盛土100m 局共1-4 改良災害用 ダンプトラック10t 施工幅4m未満 5,000m <sup>3</sup> 未満 往復	m <sup>3</sup>	42	4,631	194,502	11号代価表 14頁
残土処理1000m ダンプトラック10t 改良災害用 5,000m <sup>3</sup> 未満	m <sup>3</sup>	15	4,175	62,625	12号代価表 15頁
崩土石除去1000m ダンプトラック10t	m <sup>3</sup>	583	4,175	2,434,025	13号代価表 16頁
その他工種	式	1		391,000	種別行
現道補修	式	1		391,000	14号代価表 17頁
直接工事費	式	1		8,700,205	
共通仮設費計	式	1		1,353,000 + 140,000 1,493,000	
共通仮設費(率計上)	式	1		8,700,205 * 15.56 / 100 1,353,000	
現場環境改善費(率計上)	式	1		8,700,205 * 1.61 / 100 140,000	
純工事費	式	1		8,700,205 + 1,493,000 10,193,205	
現場管理費	式	1		10,193,205 * 35.45 / 100 3,613,000	
工事原価	式	1		10,193,205 + 3,613,000 13,806,205	
一般管理費等	式	((13,806,205 * (21.38 + 0 + 0) / 100) + 5,522.482) - 0 1		2,957,289	

【当初】 令和 6 年度 内ノ木場林道柳岳支線災害復旧工事

本工事費内訳書

費目・工種・種別・細別・規格	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
一般管理費等計	式	1		2,957,289 2,957,000	
工事価格	式	1		16,763,000 16,763,000	
消費税相当額	式	1		16,763,000 * 10 / 100 1,676,300	
請負金額	式	1		16,763,000 + 1,676,300 18,439,300	



コンクリート擁壁  
GW-L-L

代価表

( 1号代価表 )

17.700 m3当り

名 称 ・ 規 格	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要	備 考
コンクリート 無筋・鉄筋構造物 ハック材(クレーン機能付)打設 18-8~40(高炉)生コンクリート小型車割増無	m3	17.700	38,761	686,070	15号代価表 18頁	
型枠 一般型枠 鉄筋・無筋構造物	m2	38,200	8,867	338,719	16号代価表 20頁	
足場工 単管足場 不要	掛m2	12,300	4,121	50,688	17号代価表 21頁	[R5治山林道必携・上巻P618]
足場工 単管傾斜足場 不要	掛m2	12,800	3,438	44,006	18号代価表 23頁	[R5治山林道必携・上巻P618]
硬質塩化ビニル管(VU管 JIS K 6741) φ50mm	m	4,800	209	1,003		[CZ025830]
暗渠排水材及び付属品 NKフィルター 50F 水抜用フィルター	個	4	165	660		
計				1,121,146		
1 m3 当り				63,342		

( 2号代価表 )

[illegible]

10 m<sup>3</sup>当り

( 3号代価表 )

[illegible]

10 m<sup>3</sup>当り

基面整正

代価表

( 4号代価表 )

1 m2当り

	名 称 ・ 規 格	構成比	積算地区単価	名 称 ・ 規 格 (基準地区単価)	基準地区単価	備 考
R		100.00				
R1	普通作業員	100.00	19,425	普通作業員	22,300	[R6.3] R4.3
■施工パッケージ 計算根拠式 P' 積算地区補正単価 = 446  $\times \left\{ \left( \frac{100}{100} \times \frac{19,425}{22,300} \right) \times \frac{100}{100} \right.$ $\left. + \frac{100 - 100}{100} \right\} = 388.5 = 389 (\text{円/m}^2)$						

埋戻 100m 局共1-5 共1-4  
改良災害用 5,000m3未満

代価表  
( 5号代価表 )

1 m3当り

名 称 ・ 規 格	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要	備 考
バックホ掘削(掘削積込、積込) 共1-3 3(1) <small>ルースな状態の積込 林道工事における5000m3未満 砂・砂質土・粘性土・礫質土 障害あり</small>	m3	1	710	710	20号代価表 26頁	
バックホ掘削(掘削積込、積込) 共1-3 3(1) <small>ルースな状態の積込 林道工事における5000m3未満 砂・砂質土・粘性土・礫質土 障害あり</small>	m3	1	710	710	20号代価表 26頁	
ダンプ 運搬10t 土砂類 片道0.1km BH山積0.45m3	m3	1	745	745	21号代価表 27頁	
ダンプ 運搬10t 土砂類 片道0.1km BH山積0.45m3	m3	1	745	745	22号代価表 28頁	
埋戻し 施P1-⑥ 最大埋戻幅1m以上4m未満	m3	1	1,782	1,782	23号代価表 29頁	
※					注釈行	
計				4,692		
1 m3 当り				4,692		

埋戻D 100m 局共1-5 共1-4  
改良災害用 5,000m3未満

代価表  
( 6号代価表 )

1 m3当り

名 称 ・ 規 格	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要	備 考
バックホ掘削(掘削積込、積込) <small>ルースな状態の積込 林道工事における5000m3未満 砂・砂質土・粘性土・礫質土 障害あり</small>	m3	1	710	710	24号代価表 31頁	
バックホ掘削(掘削積込、積込) <small>ルースな状態の積込 林道工事における5000m3未満 砂・砂質土・粘性土・礫質土 障害あり</small>	m3	1	710	710	24号代価表 31頁	
ダンプ 運搬10t 土砂類 片道0.1km BH山積0.45m3	m3	1	745	745	25号代価表 32頁	
ダンプ 運搬10t 土砂類 片道0.1km BH山積0.45m3	m3	1	745	745	25号代価表 32頁	
埋戻工D	m3	1	2,803	2,803	26号代価表 33頁	
※					注釈行	
計				5,713		
1 m3 当り				5,713		

コンクリート路面工 局林1-3  
表層工15cm 路盤工10cm

代価表  
( 7号代価表 )

100 m2当り

名 称 ・ 規 格	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要	備 考
砂利舗装工(機械) (不陸整正)10cm 敷均し幅2.5m以上 バックホ 舗装面仕上有 C-40	m2	100	1,215	121,500	27号代価表 34頁	
コンクリート路面工 局林1-3 厚0.15m	m2	100	6,535	653,500	28号代価表 35頁	
計				775,000		
1 m2 当り				7,750		

かご枠工  
詰石 幅120cm

代価表  
( 8号代価表 )

1 式 当 り

名 称 ・ 規 格	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要	備 考
かご枠（袖部枠）（No.1付近） K12 500*1200（塗装）	枚	6	2,670	16,020	29号代価表 36頁	
かご枠工Ⅰ（No.1付近） 詰石 幅120cm	m	18	16,517	297,306	30号代価表 37頁	[R5治山林道必携・上巻P472]
かご枠（袖部枠）（EP付近） K12 500*1200（塗装）	枚	10	2,670	26,700	31号代価表 39頁	
かご枠工Ⅱ（EP付近） 詰石 幅120cm	m	88	16,517	1,453,496	32号代価表 40頁	[R5治山林道必携・上巻P472]
計				1,793,522		
1 式 当 り				1,793,522		



# 代価表

バックホウ掘削(掘削積込、積込)

地山の掘削 林道工事における5000m3未満 砂・砂質土・粘性土・礫質土 障害なし

( 9号代価表 )

100 m3当り

名 称 ・ 規 格	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要	備 考
バックホウ(2014年規制) クローラ型・山積0.45m3・超低騒音・後方超小旋回	日	1.031	63,973	65,956	2号単価表 62頁	
計				65,956		
1 m3 当り				660		
作業種別 : 地山の掘削 施工土量 : 林道工事における5000m3未満						
土質区分 : 砂・砂質土・粘性土・礫質土 現場条件 : 障害なし						
バックホウ損料補正(標準=なし) : 補正なし (超低・後方バックホウ)排ガス機械の選択 : 排ガス対策型(2014年規制)						
バックホウ(クローラ型)運転 : バックホウ(2014年規制) ; クローラ型・山積0.45m3・超低騒音・後方超小旋回 代価表当り数量の選択 : 施工土量100m3当り代価表						
バックホウ運転(日/100m3) : $S1 = 100/97 = 1.031$ 日当り施工量区分 : $DK1 = 3*100+0*10+1 = 301$						
日当り施工量区分 : $DK2 = 0*1000+0*100+0*10+1 = 1$ バックホウ機種区分 : $KK1 = 0*10+3 = 3$						

軟岩（Ⅰ）B切土  
0.80BH 地山5,000m2未満

代価表  
( 10号代価表 )

1 m3当り

名 称 ・ 規 格	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要	備 考
大型ブレーカ掘削 軟岩ⅠB	m3	1	1,391	1,391	33号代価表 42頁	[R5治山林道必携・上巻P203]
計				1,391		
1 m3 当り				1,391		

運搬盛土100m 局共1-4 改良災害用  
ダンプトラック10t 施工幅4m未満 5,000m3未満 往復

代価表  
( 11号代価表 )

1 m3当り

名 称 ・ 規 格	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要	備 考
バックホウ掘削(掘削積込、積込) 共1-3 3(1) <small>ルースな状態の積込 林道工事における5000m3未満 砂・砂質土・粘性土・礫質土 障害あり</small>	m3	1	710	710	34号代価表 43頁	
バックホウ掘削(掘削積込、積込) 共1-3 3(1) <small>ルースな状態の積込 林道工事における5000m3未満 砂・砂質土・粘性土・礫質土 障害あり</small>	m3	1	710	710	34号代価表 43頁	
ダンプ 運搬10t 土砂類 共2-7 片道0.1km BH山積0.45m3	m3	1	745	745	35号代価表 44頁	
ダンプ 運搬10t 土砂類 共2-7 片道0.1km BH山積0.45m3	m3	1	745	745	35号代価表 44頁	
路体(築堤)盛土、路床盛土 共1-8 路体(築堤) 2.5m以上4.0m未満	m3	1	1,721	1,721	36号代価表 45頁	
※					注釈行	
計				4,631		
1 m3 当り				4,631		

## 12号代価表

( 12号代価表 )

1 m3当り

[illegible]

崩土石除去1000m  
ダンプトラック10t

代価表  
( 13号代価表 )

1 m3当り

名 称 ・ 規 格	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要	備 考
バックホウ掘削(掘削積込、積込) <small>ルーズな状態の積込 林道工事における5000m3未満 砂・砂質土・粘性土・礫質土 障害物</small>	m3	1	710	710	40号代価表 50頁	
ダンプ 運搬10t 土砂類 片道1km BH山積0.45m3	m3	1	923	923	41号代価表 51頁	[R5治山林道必携・上巻P260]
路体(築堤)盛土、路床盛土 共1-8 路体(築堤) 2.5m以上4.0m未満	m3	1	2,542	2,542	42号代価表 53頁	
計				4,175		
1 m3 当り				4,175		

現道補修

代価表  
( 14号代価表 )

1 式 当 り

名 称 ・ 規 格	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要	備 考
路面補修(現道) バックホウ 0.45m3	m	500	252	126,000	43号代価表 54頁	
クラッシャーラン (再生) 40～0mm	m3	50	5,300	265,000		[見積]
計				391,000		
1 式 当 り				391,000		

コンクリート  
無筋・鉄筋構造物 バックホウ(クレーン機能付)打設 18-8-40(高炉)生コンクリート小型車割増無 一般養生

代価表

( 15号代価表 )

1 m3当り

	名 称 ・ 規 格	構成比	積算地区単価	名 称 ・ 規 格 (基準地区単価)	基準地区単価	備 考
K		4.32				
K1	バックホウ(クレーン型) [クレーン機能付] 山積0.8m3(平積0.6m3) 吊能力2.9t 長期割引	4.08	12,000	[賃料]バックホウ(クレーン型) [クレーン機能付] 山積0.8m3(平積0.6m3) 吊能力2.9t	9,840	建設物価R04.04.P801：関東地区, 積算
R		37.95				
R1	特殊作業員	11.26	26,985	特殊作業員	25,700	[R6.3] R4.3
R2	普通作業員	10.14	19,425	普通作業員	22,300	[R6.3] R4.3
R3	土木一般世話役	7.41	30,555	土木一般世話役	26,500	[R6.3] R4.3
R4	運転手(特殊)(屋外補正対象外)	6.90	27,300	運転手(特殊)	25,300	[R6.3] R4.3
Z		57.73				
Z1	生コンクリート 18-8-40(高炉) 生コンクリート小型車割増無	55.58	23,300	生コンクリート 高炉 24-12-25(20) W/C 55%	15,400	WEB建設R04.04：東京都17区(生コ
Z2	軽油 小型ローリー・パトロール給油 2~4KL積載車	2.03	147	軽油 パトロール給油	138	建設物価R04.04.P788：東京23区, 積算

■施工パッケージ 計算根拠式  
P' 積算地区補正単価 = 29,669

$$\times \left\{ \left( \frac{4.08}{100} \times \frac{12,000}{9,840} \right) \times \frac{4.32}{4.08} \right.$$

$$+ \left( \frac{11.26}{100} \times \frac{26,985}{25,700} + \frac{10.14}{100} \times \frac{19,425}{22,300} + \frac{7.41}{100} \times \frac{30,555}{26,500} + \frac{6.9}{100} \times \frac{27,300}{25,300} \right) \times \frac{37.95}{( 11.26 + 10.14 + 7.41 + 6.9 )}$$

$$+ \left( \frac{55.58}{100} \times \frac{23,300}{15,400} + \frac{2.03}{100} \times \frac{147}{138} \right) \times \frac{57.73}{( 55.58 + 2.03 )}$$

コンクリート  
無筋・鉄筋構造物 バックホウ(クレーン機能付)打設 18-8-40(高炉)生コンクリート小型車割増無 一般養生 ( 代価表 15号代価表 )

1 m3当り

	名 称 ・ 規 格	構成比	積算地区単価	名 称 ・ 規 格 (基準地区単価)	基準地区単価	備 考
$+ \frac{100 - 4.32 - 37.95 - 57.73}{100} \} = 38,761.3193696624 = 38,761 \text{ (円/m3)}$						



型枠  
一般型枠 鉄筋・無筋構造物

代価表

( 16号代価表 )

1 m2当り

	名 称 ・ 規 格	構成比	積算地区単価	名 称 ・ 規 格 (基準地区単価)	基準地区単価	備 考
R		100.00				
R1	型わく工	46.99	27,510	型枠工	26,600	[R6.3] R4.3
R2	普通作業員	25.08	19,425	普通作業員	22,300	[R6.3] R4.3
R3	土木一般世話役	9.24	30,555	土木一般世話役	26,500	[R6.3] R4.3
<div>■施工パッケージ 計算根拠式</div> <div>P' 積算地区補正単価 = 8,890.1</div> <div><math display="block">\times \{ (\frac{46.99}{100} \times \frac{27,510}{26,600} + \frac{25.08}{100} \times \frac{19,425}{22,300} + \frac{9.24}{100} \times \frac{30,555}{26,500}) \times \frac{100}{(46.99 + 25.08 + 9.24)} + \frac{100 - 100}{100} \} = 8,866.92504759593 = 8,867 \text{ (円/m2)}</math></div>						

足場工  
単管足場 不要

代価表

( 17号代価表 )

100 掛m2当り

名 称 ・ 規 格	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要	備 考
土木一般世話役	人	1.900	30,555	58,055		[R6.3]
とび工	人	6.900	27,615	190,544		[R6.3]
普通作業員	人	1.800	19,425	34,965		[R6.3]
ラフテレンクレーン[油圧伸縮ジャブ型] 25t吊 長期割引	日	0.800	44,900	35,920		[CK010500]
諸雑費	%	29		92,650	諸雑費	足場工仮設材等
計				412,134		
1 掛m2 当り				4,121		
工法：単管足場 安全柵：不要						
(クレーン)賃料長期割引の適用：長期割引あり クレーン賃料補正：標準						
労務費の適用：普通作業員を適用						
世話役(人/100掛m2)補正後：S1 = 1.9*1*1 = 1.9 とび工(人/100掛m2)補正後：S2 = 6.9*1*1 = 6.9						
普通作業員(人/100掛m2)補正後：S3 = 1.8*1*1 = 1.8 枠組足場賃料(掛m2・月/100掛m2)：S4 = 100 *0*1*0 = 0						

( 17号代価表 )

[illegible][illegible]

足場工  
単管傾斜足場 不要

代価表

( 18号代価表 )

100 掛m2当り

名 称 ・ 規 格	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要	備 考
土木一般世話役	人	1   500	30,555	45,833		[R6.3]
とび工	人	4   500	27,615	124,268		[R6.3]
普通作業員	人	2   700	19,425	52,448		[R6.3]
ラフテレンクレーン[油圧伸縮ジャブ型] 25t吊 長期割引	日	0   800	44,900	35,920		[CK010500]
諸雑費	%	33		85,295	諸雑費	足場工仮設材等
計				343,764		
1 掛m2 当り				3,438		
工法：単管傾斜足場						
安全柵：不要						
(クレーン)賃料長期割引の適用：長期割引あり						
クレーン賃料補正：標準						
労務費の適用：普通作業員を適用						
世話役(人/100掛m2)補正後：S1 = 1.5*1*1 = 1.5						
とび工(人/100掛m2)補正後：S2 = 4.5*1*1 = 4.5						
普通作業員(人/100掛m2)補正後：S3 = 2.7*1*1 = 2.7						
枠組足場賃料(掛m2・月/100掛m2)：S4 = 100 *0*1*0 = 0						

( 18号代価表 )

[illegible]

100 掛m2当り

バックホウ掘削(掘削積込、積込) 共1-3  
ルーズな状態の積込 林道工事における5000m3未満 砂・砂質土・粘性土・礫質土 障害あり

代価表

( 19号代価表 )

100 m3当り

名 称 ・ 規 格	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要	備 考
バックホウ(2014年規制) クローラ型・山積0.45m3・超低騒音・後方超小旋回	日	1 430	63,973	91,481	3号単価表 64頁	
計				91,481		
1 m3 当り				915		

代価表

バックホウ掘削(掘削積込、積込) 共1-3 3(1)  
ルーズな状態の積込 林道工事における5000m3未満 砂・砂質土・粘性土・礫質土 障害なし ( 20号代価表 )

100 m3当り

名 称 ・ 規 格	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要	備 考
バックホウ(2014年規制) 共1-3 4(4) 機-18 クローラ型・山積0.45m3・超低騒音・後方超小旋回	日	1 110	63,973	71,010	4号単価表 65頁	R6治山林道必携
○					注釈行	
計				71,010		
1 m3 当り				710		

ダンプ 運搬10t 土砂類  
片道0.1km BH山積0.45m3

代価表  
( 21号代価表 )

100 m3当り

名 称 ・ 規 格	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要	備 考
ダンプトラック 普通 オンロード・ディーゼル・積載質量10t積級	時間	7.337	10,156	74,515	5号単価表 66頁	
計				74,515		
1 m3 当り				745		



ダンプ 運搬10t 土砂類  
片道0.1km BH山積0.45m3

代価表  
( 22号代価表 )

100 m3当り

名 称 ・ 規 格	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要	備 考
ダンプトラック 普通 オンロード・ディーゼル・積載質量10t積級	時間	7.337	10,156	74,515	6号単価表 67頁	
計				74,515		
1 m3 当り				745		

埋戻し 施P1-⑥  
最大埋戻幅1m以上4m未満

代価表

( 23号代価表 )

1 m3当り

	名 称 ・ 規 格	構成比	積算地区単価	名 称 ・ 規 格 (基準地区単価)	基準地区単価	備 考
K		11. 71				
K1	バックホウ[排出ガス対策型(第2次基準値)] クローラ型・山積0. 8 m3(平積0. 6 m3)	9. 99	17, 400	バックホウ(クローラ型)[標準型・排出ガス対策型(第2次基準値)] 山積0. 8m3(平積0. 6m3)	17, 800	[R6建設機械等損料表] R4建設機械等損料表
K2	振動ローラ(舗装用)[ハルトガイト式] 質量0. 8~1. 1t 長期割引	1. 62	1, 960	[賃料]振動ローラ(舗装用)[ハルトガイト式] 質量0. 8~1. 1t	1, 560	建設物価R04. 04. P804：関東地区, 積算
K3	タンパ 及びビランマ 質量60~80kg 長期割引	0. 10	631	[賃料]タンパ 60~80kg	471	建設物価R04. 04. P805：関東地区, 積算
R		83. 03				
R1	普通作業員	51. 56	19, 425	普通作業員	22, 300	[R6. 3] R4. 3
R2	特殊作業員	22. 78	26, 985	特殊作業員	25, 700	[R6. 3] R4. 3
R3	運転手(特殊)(屋外補正対象外)	8. 69	27, 300	運転手(特殊)	25, 300	[R6. 3] R4. 3
Z		5. 26				
Z1	軽油 パトロール給油	5. 12	147	軽油 パトロール給油	138	建設物価R04. 04. P788：東京23区, 積算
Z2	ガソリン レギュラー スタンド	0. 14	160	ガソリン レギュラー スタンド	154	建設物価R04. 04. P788：東京23区, 積算

■施工パッケージ 計算根拠式

P' 積算地区補正単価 = 1, 861. 4

$$\times \{ (\frac{9.99}{100} \times \frac{17,400}{17,800} + \frac{1.62}{100} \times \frac{1,960}{1,560} + \frac{0.1}{100} \times \frac{631}{471}) \times \frac{11.71}{(9.99 + 1.62 + 0.1)}$$

$$+ (\frac{51.56}{100} \times \frac{19,425}{22,300} + \frac{22.78}{100} \times \frac{26,985}{25,700} + \frac{8.69}{100} \times \frac{27,300}{25,300}) \times \frac{83.03}{(51.56 + 22.78 + 8.69)}$$

埋戻し 施P1-⑥  
最大埋戻幅1m以上4m未満

代価表

( 23号代価表 )

1 m3当り

	名 称 ・ 規 格	構成比	積算地区単価	名 称 ・ 規 格 (基準地区単価)	基準地区単価	備 考
$+ \left( \frac{5.12}{100} \times \frac{147}{138} + \frac{0.14}{100} \times \frac{160}{154} \right) \times \frac{5.26}{(5.12 + 0.14)}$ $+ \frac{100 - 11.71 - 83.03 - 5.26}{100} \} = 1,782.15787902868 = 1,782 \text{ (円/m3)}$						

## 24号代価表

ルズな状態の積込 林道工事における5000m<sup>3</sup>未満 砂・砂質土・粘性土・礫質土 障害なし

( 24号代価表 )

100 m<sup>3</sup>当り

31 頁

ダンプ 運搬10t 土砂類  
片道0.1km BH山積0.45m3

代価表  
( 25号代価表 )

100 m3当り

名 称 ・ 規 格	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要	備 考
ダンプトラック 普通 オンロード・ディゼール・積載質量10t積級	時間	7.337	10,156	74,515	7号単価表 68頁	
計				74,515		
1 m3 当り				745		

代価表  
( 26号代価表 )

100 m3当り

名 称 ・ 規 格	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要	備 考
普通作業員	人	7	19,425	135,975		[R6.3]
ﾀﾝﾊﾟ 締固め ﾀﾝﾊﾟ 60~80kg	m3	100	1,443	144,300	45号代価表 56頁	
計				280,275		
1 m3 当り				2,803		

砂利舗装工(機械) (不陸整正)10cm  
敷均し幅2.5m以上 バックホ 舗装面仕上有 C-40

代価表  
( 27号代価表 )

100 m2 当り

名 称 ・ 規 格	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要	備 考
土木一般世話役	人	0.350	30,555	10,694		[R6.3]
普通作業員	人	0.990	19,425	19,231		[R6.3]
クラッシャー (再生) 40～0mm	m3	11.600	5,300	61,480		[見積]
バックホ (排対2次) ローラ型・山積0.28m3 (平積0.2m3)	時間	3.100	7,438	23,058	8号単価表 69頁	
振動ローラ (賃料) 質量3～4t長期割引	日	0.200	35,200	7,040	9号単価表 70頁	
計				121,503		
1 m2 当り				1,215		

コンクリート路面工 局林1-3  
厚0.15m

代価表  
( 28号代価表 )

100 m2当り

名 称 ・ 規 格	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要	備 考
コンクリート路面工 人力舗設 林1-3 15cm 18-8-40B種	m2	100	5,065	506,500	46号代価表 57頁	
路盤紙敷設 クラフト紙系	m2	100	94	9,400	47号代価表 58頁	
溶接金網設置工 G3551線径6.0*網目150*150mm	m2	100	924	92,400	48号代価表 59頁	
型枠 一般型枠 均しコンクリート	m2	10	4,524	45,240	49号代価表 60頁	
計				653,540		
1 m2 当り				6,535		



かご枠（袖部枠）（No.1付近）  
K12 500\*1200（塗装）

代価表  
( 29号代価表 )

1 枚 当 り

名 称 ・ 規 格	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要	備 考
かご枠（袖部枠） K12 500*1200（塗装）	枚	1	2,670	2,670		[R6.2 建設物価等]
計				2,670		
1 枚 当 り				2,670		

かご枠工Ⅰ（No.1付近）  
詰石 幅120cm

代価表  
( 30号代価表 )

10 m 当り

名 称 ・ 規 格	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要	備 考
土木一般世話役	人	0.240	30,555	7,333		[R6.3]
特殊作業員	人	0.260	26,985	7,016		[R6.3]
普通作業員	人	0.880	19,425	17,094		[R6.3]
かご枠 K12 500*2000*1200(塗装)	m2	5	15,300	76,500		[R6.2 建設物価等]
割栗石（籠詰用） 150～200mm	m3	5.700	6,600	37,620		[見積]
吸出防止材 [ヤシ繊維系] t=10mm （68）	m2	5.350	590	3,157		[1022]
バックホ（排対1次） クローラ型・山積0.45m3(平積0.35m3)	時間	1.860	8,335	15,503	10号単価表 71頁	[R5治山林道必携・上巻P776]
諸雑費	%	3		943	諸雑費	つき固め機械等の損料、油脂類費用
計				165,166		
1 m 当り				16,517		
かご枠：幅120cm・詰石；土木一般世話役：人，人，m3，時間，% 資材計上区分：材料費+施工費						
かご枠：かご枠；K12 500*2000*1200(塗装) かご枠材料の単位選択：「m2」単位の材料単価						
10m当りかご枠の使用量：数量=5m2 詰石：割栗石（籠詰用）；150～200mm						

かご砕工Ⅰ（No.1付近）  
詰石 幅120cm

代価表  
( 30号代価表 )

10 m 当り

名 称 ・ 規 格	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要	備 考
吸出防止材・植生シート計上有無(詰石)：計上する						
吸出防止材・植生シート材料費計上区分：吸出防止材材料費計上する						
吸出防止材：吸出防止材〔ヤシ繊維系〕； t=10mm ( 68)						
10m当りの吸出防止材の設計数量：S=5m2						
(バックホ)排ガス機械の選択：排ガス対策型(第1次基準値)						
バックホ運転費：バックホ(排対1次)；クローラ型・山積0.45m3(平積0.35m3)						
労務費の適用：普通作業員を適用						
吸出防止材・植生シートの使用数量(m2)：S1 = 5*(1+0.07) = 5.35						

かご枠（袖部枠）（EP付近）  
K12 500\*1200（塗装）

代価表  
（ 31号代価表 ）

1枚当り

名 称 ・ 規 格	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要	備 考
かご枠（袖部枠） K12 500*1200（塗装）	枚	1	2,670	2,670		[R6.2 建設物価等]
計				2,670		
1 枚 当 り				2,670		

かご枠工Ⅱ（EP付近）  
詰石 幅120cm

代価表  
( 32号代価表 )

10 m当り

名 称 ・ 規 格	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要	備 考
土木一般世話役	人	0.240	30,555	7,333		[R6.3]
特殊作業員	人	0.260	26,985	7,016		[R6.3]
普通作業員	人	0.880	19,425	17,094		[R6.3]
かご枠 K12 500*2000*1200(塗装)	m2	5	15,300	76,500		[R6.2 建設物価等]
割栗石（籠詰用） 150～200mm	m3	5.700	6,600	37,620		[見積]
吸出防止材 [ヤシ繊維系] t=10mm （68）	m2	5.350	590	3,157		[1022]
バックホ（排対1次） クローラ型・山積0.45m3(平積0.35m3)	時間	1.860	8,335	15,503	10号単価表 71頁	[R5治山林道必携・上巻P776]
諸雑費	%	3		943	諸雑費	つき固め機械等の損料、油脂類費用
計				165,166		
1 m 当り				16,517		
かご枠：幅120cm・詰石；土木一般世話役：人,人,m3,時間,% 資材計上区分：材料費+施工費						
かご枠：かご枠；K12 500*2000*1200(塗装) かご枠材料の単位選択：「m2」単位の材料単価						
10m当りかご枠の使用量：数量=5m2 詰石：割栗石（籠詰用）；150～200mm						

( 32号代価表 )

[illegible]

41 頁

大型ブレイカ掘削  
軟岩 I B

代価表  
( 33号代価表 )

10 m3 当り

名 称 ・ 規 格	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要	備 考
大型ブレイカ BH山積0.8(排対3) 岩10% 油圧式1300kg級	時間	0.820	15,617	12,806	11号単価表 75頁	
チゼル損耗費 1300kg級	本	0.010	110,000	1,100		[2079]
計				13,906		
1 m3 当り				1,391		
施工歩掛(I)：軟岩 I B ； 大型ブレイカ:油圧1300kg級:時間,本 (大型ブレイカベースマシン・バックホウ)排ガス機械の選択：排ガス対策型(第3次基準値)						
大型ブレイカ運転：大型ブレイカ BH山積0.8(排対3) 岩10%； 油圧式1300kg級 チゼル(1300kg)：チゼル損耗費； 1300kg級						

代価表

バックホウ掘削(掘削積込、積込) 共1-3 3(1)  
ルーズな状態の積込 林道工事における5000m3未満 砂・砂質土・粘性土・礫質土 障害なし ( 34号代価表 )

100 m3当り

名 称 ・ 規 格	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要	備 考
バックホウ(2014年規制) クローラ型・山積0.45m3・超低騒音・後方超小旋回	日	1 110	63,973	71,010	12号単価表 79頁	
○					注釈行	
計				71,010		
1 m3 当り				710		



ダンプ 運搬10t 土砂類 共2-7  
片道0.1km BH山積0.45m3

代価表  
( 35号代価表 )

100 m3当り

名 称 ・ 規 格	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要	備 考
ダンプトラック 普通 オンロード・ディゼール・積載質量10t積級	時間	7.337	10,156	74,515	13号単価表 80頁	
○					注釈行	
計				74,515		
1 m3 当り				745		

( 36号代価表 )

[illegible]

45 頁

代価表

バックホウ掘削(掘削積込、積込)  
ルーズな状態の積込 林道工事における5000m3未満 砂・砂質土・粘性土・礫質土 障害なし ( 37号代価表 )

100 m3当り

名 称 ・ 規 格	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要	備 考
バックホウ(2014年規制) クローラ型・山積0.45m3・超低騒音・後方超小旋回	日	1 110	63,973	71,010	15号単価表 82頁	
計				71,010		
1 m3 当り				710		

ダンプ 運搬10t 土砂類  
片道1km BH山積0.45m3

代価表

( 38号代価表 )

100 m3当り

名 称 ・ 規 格	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要	備 考
ダンプトラック 普通 オンロード・デ・イゼル・積載質量10t積級	時間	9.084	10,156	92,257	16号単価表 83頁	
計				92,257		
1 m3 当り				923		
代価表の選択：「m3」単位当り代価表(施工土量「10m3当り」「100m3当り」「1h当り施工量(m3)当り」代価表を選択) 代価表の単位区分の受取り：施工土量100m3又は1h当り施工量(m3)						
代価表の選択：施工土量100m3当り代価表 ダンプトラック規格：10t積；公称積載質量(t)						
土質区分：土砂類:砂・砂質・粘性・礫質土；地山の単位体積質量(t/m3),ダンプトラック損料補正 ダンプトラック損料補正：損料補正なし						
運搬状況係数：上記以外の運搬の場合(「DID区分率が30%以上の地区を昼間運搬する場合」以外)：-；運搬状況による係数 積込等係数：BH山積0.45m3(平積0.35m3)；積込等その他による係数(min)：10t積						
片道平均運搬距離：L=1km 路面の状態(タイヤ損耗費)：普通						
ダンプトラック運転費：ダンプトラック 普通；オンロード・デ・イゼル・積載質量10t積級 廃棄物処理料金の計上：計上しない						
100m3or10m3当り運搬時間(h/100m3or10m3)：S1 = if(1==1, 100/11.008, 10/11.008) = 9.084 運転1時間当り運搬土量(m3/h)：Q = 60*5.3*1*0.9/26 = 11.008						
1台当り積載土量(m3)：q = if(1==1, if(1==1, 5.3, 5.2), 0)/1 = 5.3 廃棄物処理料金(t又はm3/100m3、10m3、時間)：S2m = if(0==1, 1.8, 1) * if(1==1, 100, if(1==2, 11.008, 10)) = 100						
積載土量(m3)：qa = 5.3+0+0+0+0 = 5.3						

ダンプ 運搬10t 土砂類  
片道1km BH山積0.45m3

代価表

( 38号代価表 )

100 m3当り

名 称 ・ 規 格	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要	備 考
質量/比重(10t) : $q1 = \text{if}(2==5, 2.9, \text{if}(0==0, 9.5/1.8, 9.5/1.8*1))*1 = 5.3$						
質量/比重(4t) : $q2 = \text{if}(2==5, 1.2, \text{if}(0==0, 9.5/1.8, 9.5/1.8*1))*0 = 0$						
質量/比重(4,10t以外) : $q3 = \text{if}(0==0, 9.5/1.8, 9.5/1.8*1)*0 = 0$						
質量/比重(25t) : $q4 = \text{if}(0==0, 9.5/1.8, 9.5/1.8*1)*0 = 0$						
質量/比重(32~37t) : $q5 = \text{if}(0==0, 9.5/1.8, 9.5/1.8*1)*0 = 0$						
質量/比重(46~55t) : $q6 = \text{if}(0==0, 9.5/1.8, 9.5/1.8*1)*0 = 0$						
積載土量(m3) : $qb = 5.2+0+0+0+0 = 5.2$						
質量/比重(10t) : $q1b = 9.5/1.8*1 = 5.2$						
質量/比重(4t) : $q2b = 9.5/1.8*0 = 0$						
質量/比重(4,10t以外) : $q3b = 9.5/1.8*0 = 0$						
質量/比重(25t) : $q4b = 9.5/1.8*0 = 0$						
質量/比重(32~37t) : $q5b = 9.5/1.8*0 = 0$						
質量/比重(46~55t) : $q6b = 9.5/1.8*0 = 0$						
容量/変化率 : $q7 = 0/1 = 0$						
土量換算係数 : $f = 1/1 = 1$						
サイクルタイム(h) : $ch = (26/60)/0.9 = 0.481$						
サイクルタイム(h) : $ch1 = (26/60)/0.9 = 0.481$						
サイクルタイム(min)計算A : $cmA = 4.8*1+21 = 25.8$						
サイクルタイム(min)計算B(小数点以下四捨五入) : $cmB = 4.8*1+21 = 26$						
サイクルタイム(min)計算C : $cmC = (0*6/60)+0+0+0 = 0$						
片道平均運搬距離(km) : $La = \text{if}(0==0, 1, 0+0+0) = 1$						
土量変化率(ほぐした/自然) : $\omega = 1/1 = 1$						
積載量の判断計算 : $qJ = 9.5-(0*1.8/1) = 9.5$						
往路所要時間(min) : $T1 = 0/1*60 = 0$						
復路所要時間(min) : $T2 = 0/1*60 = 0$						
ダンプ1台の積込機械サイクル数(計算) : $n2 = 5.3/(1*1*1) = 6$						
運転日当り運転時間(h/日) : $Ta = 830/140 = 5.9$						
日当り施工量(m3又はt/日) : $QPD = \text{if}(1==3, (9.5/0.481)*5.9, 11.008*5.9) = 64.9472$						

路体(築堤)盛土、路床盛土 共1-8  
路体(築堤) 2.5m以上4.0m未満

代価表  
( 39号代価表 )

100 m3当り

名 称 ・ 規 格	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要	備 考
普通作業員	人	0   200	19, 425	3, 885		[R6. 3] 補助労務
バックホウ(2014年規制) クローラ型・山積0.45m3・超低騒音・後方超小旋回	日	2   500	67, 291	168, 228	17号単価表 86頁	
振動ローラ(賃料) 0.5~0.6t	日	2   500	32, 836	82, 090	18号単価表 87頁	
○					注釈行	
計				254, 203		
1 m3 当り				2, 542		

バックホウ掘削(掘削積込、積込)  
ルーズな状態の積込 林道工事における5000m3未満 砂・砂質土・粘性土・礫質土 障害なし

代価表

( 40号代価表 )

100 m3当り

名 称 ・ 規 格	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要	備 考
バックホウ(2014年規制) クローラ型・山積0.45m3・超低騒音・後方超小旋回	日	1 110	63,973	71,010	19号単価表 88頁	
計				71,010		
1 m3 当り				710		

ダンプ 運搬10t 土砂類  
片道1km BH山積0.45m3

代価表

( 41号代価表 )

100 m3当り

名 称 ・ 規 格	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要	備 考
ダンプトラック 普通 オンロード・デ・イゼル・積載質量10t積級	時間	9.084	10,156	92,257	20号単価表 89頁	
計				92,257		
1 m3 当り				923		
代価表の選択：「m3」単位当り代価表(施工土量「10m3当り」「100m3当り」「1h当り施工量(m3)当り」代価表を選択) 代価表の単位区分の受取り：施工土量100m3又は1h当り施工量(m3)						
代価表の選択：施工土量100m3当り代価表 ダンプトラック規格：10t積；公称積載質量(t)						
土質区分：：土砂類:砂・砂質・粘性・礫質土；地山の単位体積質量(t/m3),ダンプトラック損料補正 ダンプトラック損料補正：損料補正なし						
運搬状況係数：上記以外の運搬の場合(「DID区分率が30%以上の地区を昼間運搬する場合」以外)：-；運搬状況による係数 積込等係数：BH山積0.45m3(平積0.35m3)；積込等その他による係数(min)：10t積						
片道平均運搬距離：L=1km 路面の状態(タイヤ損耗費)：普通						
ダンプトラック運転費：ダンプトラック 普通；オンロード・デ・イゼル・積載質量10t積級 廃棄物処理料金の計上：計上しない						
100m3or10m3当り運搬時間(h/100m3or10m3)：S1 = if(1==1, 100/11.008, 10/11.008) = 9.084 運転1時間当り運搬土量(m3/h)：Qa = 60*5.3*1*0.9/26 = 11.008						
運転1時間当り運搬土量(m3/h)：Qb = 60*5.3*1*0.9/26 = 11 1台当り積載土量(m3)：q = if(1==1, if(1==1, 5.3, 5.2), 0)/1 = 5.3						
廃棄物処理料金(t又はm3/100m3,10m3、時間)：S2m = if(0==1, 1.8, 1) * if(1==1, 100, if(1==2, 11.008, 10)) = 100 積載土量(m3)：qa = 5.3+0+0+0+0 = 5.3						



ダンプ 運搬10t 土砂類  
片道1km BH山積0.45m3

代価表

( 41号代価表 )

100 m3当り

名 称 ・ 規 格	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要	備 考
質量/比重(10t) : $q1 = \text{if}(2==5, 2.9, \text{if}(0==0, 9.5/1.8, 9.5/1.8*1))*1 = 5.3$						
質量/比重(4t) : $q2 = \text{if}(2==5, 1.2, \text{if}(0==0, 9.5/1.8, 9.5/1.8*1))*0 = 0$						
質量/比重(4,10t以外) : $q3 = \text{if}(0==0, 9.5/1.8, 9.5/1.8*1)*0 = 0$						
質量/比重(25t) : $q4 = \text{if}(0==0, 9.5/1.8, 9.5/1.8*1)*0 = 0$						
質量/比重(32~37t) : $q5 = \text{if}(0==0, 9.5/1.8, 9.5/1.8*1)*0 = 0$						
質量/比重(46~55t) : $q6 = \text{if}(0==0, 9.5/1.8, 9.5/1.8*1)*0 = 0$						
積載土量(m3) : $qb = 5.2+0+0+0+0 = 5.2$						
質量/比重(10t) : $q1b = 9.5/1.8*1 = 5.2$						
質量/比重(4t) : $q2b = 9.5/1.8*0 = 0$						
質量/比重(4,10t以外) : $q3b = 9.5/1.8*0 = 0$						
質量/比重(25t) : $q4b = 9.5/1.8*0 = 0$						
質量/比重(32~37t) : $q5b = 9.5/1.8*0 = 0$						
質量/比重(46~55t) : $q6b = 9.5/1.8*0 = 0$						
容量/変化率 : $q7 = 0/1 = 0$						
土量換算係数 : $f = 1/1 = 1$						
サイクルタイム(h) : $ch = (26/60)/0.9 = 0.481$						
サイクルタイム(h) : $ch1 = (26/60)/0.9 = 0.481$						
サイクルタイム(min)計算A : $cmA = 4.8*1+21 = 25.8$						
サイクルタイム(min)計算B(小数点以下四捨五入) : $cmB = 4.8*1+21 = 26$						
サイクルタイム(min)計算C : $cmC = (0*6/60)+0+0+0 = 0$						
片道平均運搬距離(km) : $La = \text{if}(0==0, 1, 0+0+0) = 1$						
土量変化率(ほぐした/自然) : $\omega = 1/1 = 1$						
積載量の判断計算 : $qJ = 9.5-(0*1.8/1) = 9.5$						
往路所要時間(min) : $T1 = 0/1*60 = 0$						
復路所要時間(min) : $T2 = 0/1*60 = 0$						
ダンプ1台の積込機械サイクル数(計算) : $n2 = 5.3/(1*1*1) = 6$						
運転日当り運転時間(h/日) : $Ta = 830/140 = 5.9$						
日当り施工量(m3又はt/日) : $QPD = \text{if}(1==3, (9.5/0.481)*5.9, 11.008*5.9) = 64.9472$						

路体(築堤)盛土、路床盛土 共1-8  
路体(築堤) 2.5m以上4.0m未満

代価表  
( 42号代価表 )

100 m3当り

名 称 ・ 規 格	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要	備 考
普通作業員	人	0   200	19, 425	3, 885		[R6. 3]補助労務
バックホ(2014年規制) クロー型・山積0.45m3・超低騒音・後方超小旋回	日	2   500	67, 291	168, 228	21号単価表 92頁	
振動ロー(賃料) 0.5~0.6t	日	2   500	32, 836	82, 090	18号単価表 87頁	
○					注釈行	
計				254, 203		
1 m3 当り				2, 542		

路面補修(現道)  
バックホウ 0.45m3

代価表  
( 43号代価表 )

100 m 当り

名 称 ・ 規 格	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要	備 考
普通作業員	人	0   600	19, 425	11, 655		[R6. 3]
バックホウ(排対2次) クローラ型・山積0.45m3(平積0.35m3)	時間	1   590	8, 525	13, 555	22号単価表 93頁	
計				25, 210		
1 m 当り				252		

生コンクリート  
18-8-40(高炉) 生コンクリート小型車割増無

代価表  
( 44号代価表 )

1 m3当り

名 称 ・ 規 格	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要	備 考
生コンクリート 18-8-40BB(地区割増有)	m3	1	23,300	23,300		[見積]
計				23,300		
1 m3 当り				23,300		

( 45号代価表 )

[illegible]

100 m<sup>3</sup>当り

コンクリート路面工 人力舗設 林1-3  
15cm 18-8-40B種

代価表  
( 46号代価表 )

100 m2当り

名 称 ・ 規 格	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要	備 考
生コンクリート 18-8-40BB(地区割増有)	m3	15   600	23, 300	363, 480		割増率4% [見積]
土木一般世話役	人	0   200	30, 555	6, 111		[R6. 3]
特殊作業員	人	2   300	26, 985	62, 066		[R6. 3]
普通作業員	人	3   500	19, 425	67, 988		[R6. 3]
諸雑費	%	5		6, 808	諸雑費	パイプレタ等の機械損料、油脂類等
計				506, 453		
1 m2 当り				5, 065		

( 47号代価表 )

[illegible]

58 頁

溶接金網設置工  
G3551線径6.0\*網目150\*150mm

代価表  
( 48号代価表 )

100 m2当り

名 称 ・ 規 格	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要	備 考
普通作業員	人	2	19,425	38,850		[R6.3]
丸鉄線溶接金網 G3551 線径6.0×網目150×150mm	m 2	110	487	53,570		[CZ022600]
計				92,420		
1 m2 当り				924		



型枠  
一般型枠 均しコンクリート

代価表

( 49号代価表 )

1 m2当り

	名 称 ・ 規 格	構成比	積算地区単価	名 称 ・ 規 格 (基準地区単価)	基準地区単価	備 考
R		100.00				
R1	型わく工	59.07	27,510	型枠工	26,600	[R6.3] R4.3
R2	普通作業員	19.80	19,425	普通作業員	22,300	[R6.3] R4.3
R3	土木一般世話役	5.88	30,555	土木一般世話役	26,500	[R6.3] R4.3
<div>■施工パッケージ 計算根拠式</div> <div>P' 積算地区補正単価 = 4,504.1</div> <div><math display="block">\times \left\{ \left( \frac{59.07}{100} \times \frac{27,510}{26,600} + \frac{19.8}{100} \times \frac{19,425}{22,300} + \frac{5.88}{100} \times \frac{30,555}{26,500} \right) \times \frac{100}{(59.07 + 19.8 + 5.88)} \right.</math><div><math display="block">+ \frac{100 - 100}{100} \Big\} = 4,523.65104385617 = 4,524 \text{ (円/m2)}</math></div></div>						

大型ブレーカ BH山積0.8(排対3) 岩10%  
油圧式1300kg級

単価表  
( 1号単価表 )

1 時間 当 り

名 称 ・ 規 格	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要	備 考
運転手(特殊)(屋外補正対象外)	人	0   170	27, 300	4, 641		[R6. 3]
軽油 小型ローリー・パトロール給油 2~4KL積載車	L	15	147	2, 205		
バックホ[排出ガス対策型(第3次基準値)][岩石補正+10%] クローラ型・山積0.8m3(平積0.6m3)超低騒音型	時間	1	5, 320	5, 320		[R6建設機械等損料表]
大型ブレーカ(ベースマシン含まず) 油圧式1300kg級	日	0   170	20, 300	3, 451		[R6建設機械等損料表] [0604-077-213-001]
計				15, 617		
1 時 間 当 り				15, 617		

# 単価表

バックホ(2014年規制)  
クロー型・山積0.45m3・超低騒音・後方超小旋回

( 2号単価表 )

1 日 当 り

名 称 ・ 規 格	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要	備 考
運転手(特殊)(屋外補正対象外)	人	1	27,300	27,300		[R6.3]
軽油 ハートル給油	L	65	147	9,555		[CZ003000]
バックホ[排出ガス対策型(2014年規制)] クロー型・山積0.45m3・超低騒音・後方超小旋回	供用日	1.490	18,200	27,118		[R6建設機械等損料表] [0202-236-035-001]
計				63,973		
1 日 当 り				63,973		
1日当り損料又は賃料数量 : Sd2=1.49供用日 供用損料に対する補正 : 単価管理で設定した損料を適用 ; 11欄に掛ける補正值:建設機械(陸上)						
1日当り労務数量 : Rd2=1人 軽油 : 軽油 ; ハートル給油						
1日当り燃料又は電力数量 : Nd2=65L, kWh						
供用日当り運転時間(h/日) : $t = 3.9 \times 1 + 0 \times (1-1) = 3.9$ 損料表上の標準のt(h/日) : $t0 = 3.9 \times 1 + 3.9 \times (1-1) = 3.9$						
損料表上の標準のt(h/日)自動積算丸め : $t0Z = 700/180 = 3.9$ 損料表上の標準のt(h/日)有効2桁 : $t0H = 700/180 = 3.9$						
tによる補正有無の判定用計算 : $tj = 0/3.9 = 0$ 運転1h当り損料(円/h)丸め : $UgSa = INT(14700000 \times 107 \times 10^{(-6)} \times 10)/10 = 1570$						
供用1日当り損料(円/日)豪雪あり : $KnSa = INT(12000 \times 1 \times 10)/10 = 12000$ 供用1日当り損料(円/日)豪雪なし : $KnSb = 12000 \times 0 + 12000 \times (1-0) = 12000$						

# 単価表

バックホ(2014年規制)  
クローラ型・山積0.45m3・超低騒音・後方超小旋回

( 2号単価表 )

1 日 当 り

名 称 ・ 規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要	備 考
供用1日当り損料(円/日)特殊加減 : $KnSc = INT(14700000*816*10^{(-6)}*10)/10 = 12000$						
供用1日当り損料率(概算) ( $*10^6$ ) : $Knr = 12000/(14700*1000)*10^6 = 816$						
供用1日当り換算損料 15欄から : $SnKa = INT(18200*(0/100+1)*10)/10 = 18200$						
供用1日当り換算損料 9・11欄から : $SnKb = INT((1570*1*1+12000*1/3.9)*(0/100+1)*3.9*10)/10 = 18100$						
供用1日当り換算損料 指定15欄端数切用 : $SnKb2 = (1570*(1-1)*3.9+12000*(1-1)+0)*(0/100+1)*10 = 0$						
供用1日当り換算損料 計算・指定13欄判断 : $SnKb3 = if(1> 1, (0/10), 18100) = 18100$						
省庁による指定の15欄(円/日)岩補正 : $KnKSo = if(INT((1-1)*100)=10, 0, 0)*0 = 0$						
補正後基礎価格(円/台)丸め : $KKa = INT((14700*1000+0)*10)/10 = 14700000$						
11欄に掛ける補正值(11欄丸め) : $b1 = 1*0+1*(1-0) = 1$						
11欄に掛ける補正值(13・15欄丸め) : $b2 = 1*0+1*(1-0) = 1$						
損料補正有無(総合) : $SHT = 0+0+0+0+0 = 0$						
損料補正有無(交替作業) : $SH1 = 1-1 = 0$						
損料補正有無(標準外のt) : $SH2 = 1-1 = 0$						
損料補正有無(岩石作業) : $SH3 = if(10==0, 1-1, if(1==4, if(1==1.1, 1-1, 0), 0)) = 0$						
損料補正有無(豪雪補正) : $SH4 = 1-1 = 0$						
損料補正有無(特殊規格加減算) : $SH5 = (0*0)^{(1/2)} = 0$						
規格区分(1)(絶対値) : $NK = (0.45*0.45)^{(1/2)} = 0.45$						
工種区分(絶対値) : $NK3 = (0*0+0*0+0*0+0*0+0*0)^{(1/2)} = 0$						
岩石補正損料区分 : $GHa = if(10==0, 1, 1+if(1==1, 0, if(2.1==10, if(1==1, 10, if(0==0, 0, 10))), 0))) = 1$						

( 3号单価表 )

1 日 当 り

64 頁

バックホ(2014年規制) 共1-3 4(4) 機-18  
クロー型・山積0.45m3・超低騒音・後方超小旋回

単価表  
( 4号単価表 )

1 日 当 り

名 称 ・ 規 格	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要	備 考
運転手(特殊)(屋外補正対象外)	人	1	27,300	27,300		[R6.3]
軽油 小型ローラー・パトロール給油 2~4KL積載車	L	65	147	9,555		
バックホ[排出ガス対策型(2014年規制)] クロー型・山積0.45m3・超低騒音・後方超小旋回	供用日	1490	18,200	27,118		[R6建設機械等損料表] [0202-236-035-001]
○					注釈行	
計				63,973		
1 日 当 り				63,973		

ダンプトラック 普通  
オンロード・デイスル・積載質量10t積級

単価表  
( 5号単価表 )

1 時間 当り

名 称 ・ 規 格	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要	備 考
運転手(一般)(屋外補正対象外)	人	0   170	24, 150	4, 106		[R6. 3]
軽油 ハトル給油	L	9   800	147	1, 441		[CZ003000]
ダンプトラック オンロード・デイスル・積載質量10t積級	時間	1	4, 350	4, 350		[R6建設機械等損料表] [0301-011-110-001]
タイヤ損耗費及び補修費(1時間当り) ダンプトラック10t・普通	時間	1	259	259		[R6建設機械等損料表]
計				10, 156		
1 時間 当り				10, 156		

ダンプトラック 普通  
オンロード・デイスル・積載質量10t積級

単価表  
( 6号単価表 )

1 時間 当り

名 称 ・ 規 格	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要	備 考
運転手(一般)(屋外補正対象外)	人	0.170	24,150	4,106		[R6.3]
軽油 ハトル給油	L	9.800	147	1,441		[CZ003000]
ダンプトラック オンロード・デイスル・積載質量10t積級	時間	1	4,350	4,350		[R6建設機械等損料表] [0301-011-110-001]
タイヤ損耗費及び補修費(1時間当り) ダンプトラック10t・普通	時間	1	259	259		[R6建設機械等損料表]
計				10,156		
1 時間 当り				10,156		



ダンプトラック 普通  
オンロード・デイスール・積載質量10t積級

単価表  
( 7号単価表 )

1 時間 当り

名 称 ・ 規 格	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要	備 考
運転手(一般)(屋外補正対象外)	人	0   170	24, 150	4, 106		[R6. 3]
軽油 小型ローリー・パトロール給油 2~4KL積載車	L	9   800	147	1, 441		
ダンプトラック オンロード・デイスール・積載質量10t積級	時間	1	4, 350	4, 350		[R6建設機械等損料表] [0301-011-110-001]
タイヤ損耗費及び補修費(1時間当り) ダンプトラック10t・普通	時間	1	259	259		[R6建設機械等損料表]
計				10, 156		
1 時間 当り				10, 156		

( 8号单価表 )

( 8号单価表 )

( 8号单価表 )

( 8号单価表 )

振動ロー(賃料)  
質量3~4t長期割引

単価表  
( 9号単価表 )

1 日 当 り

名 称 ・ 規 格	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要	備 考
運転手(特殊)(屋外補正対象外)	人	1	27,300	27,300		[R6.3]
軽油 小型ロー・パトロール給油 2~4KL積載車	L	15	147	2,205		
振動ロー(舗装用)[搭乗・コンバインド式] 質量3~4t 長期割引	日	1260	4,520	5,695		[CK011400]
計				35,200		
1 日 当 り				35,200		

# 単価表

バックホ(排対1次)  
クロー型・山積0.45m3(平積0.35m3)

( 10号単価表 )

1 時間 当り

名 称 ・ 規 格	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要	備 考
運転手(特殊)(屋外補正対象外)	人	0.170	27,300	4,641		[R6.3]
軽油 小型ローリー・パトロール給油 2~4KL積載車	L	8.600	147	1,264		
バックホ[排出ガス対策型(第1次基準値)] クロー型・山積0.45m3(平積0.35m3)	時間	1	2,430	2,430		[R6建設機械等損料表] [0202-112-035-001]
計				8,335		
1 時 間 当り				8,335		
単価表の単位選択：1時間当り単価表；区分						
積算方法の選択(損料・賃料選択)：損料(業者持ち)適用の運転単価表						
岩石作業による運転損料補正：補正なし；9欄に掛ける補正值						
機械機種(損料)：クロー型						
条件選択：						
規格選択(損料・クロー型)(業者持)：クロー型:排ガス対策型第1次基準値；：山積 0.45m3:平積0.35m3						
運転日当り運転時間適用区分：損料表上の標準のT(=T0)を適用(3欄/4欄)；ベースマシンTの適用						
供用日当り運転時間適用区分：損料表上の標準のt(=t0)を適用(3欄/5欄)；ベースマシンtの適用						
供用損料に対する補正：単価管理で設定した損料を適用；11欄に掛ける補正值:建設機械(陸上)						
特殊規格の補正率有無：補正率なし						
特殊規格の基礎価格加減額有無：加減額なし						
運転労務数量適用区分：Tより求めた労務数量を適用						
燃料又は電力数量適用区分：消費率と機関出力より求めた数量を適用						
軽油：軽油；パトロール給油						
損料、賃料、評価額数量適用区分：標準値を適用						

# 単価表

バックホ(排対1次)  
クロー型・山積0.45m3(平積0.35m3)

( 10号単価表 )

1 時間当り

名 称 ・ 規 格	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要	備 考
・一般又は特殊運転手(人/h) : $Rh1 = \text{if}(0==1, \text{if}(1==0, 0, 1/7), (\text{MIN}(1, 1)/\text{MIN}(7, 5.8))) = 0.17$						
・一般又は特殊運転手(人/日) : $Rd1 = \text{if}(0==1, \text{if}(1==0, 0, 1), (\text{MIN}(1, 1)/\text{MIN}(7, 5.8)*5.8)) = 1$						
1h当り消費量(L又はkWh)丸めなし : $Nh0 = 60*0.144 = 8.64$						
1h当り消費量(L又はkWh)有効2桁 : $Nh1 = 60*0.144 = 8.6$						
1h当り消費量(L又はkWh)整数止め : $Nh2 = 60*0.144 = 9$						
・1日当り消費量(L又はkWh) : $Nd = 49.88*1+50*0+50*0+49.9*0 = 49.88$						
1日当り消費量(L又はkWh)丸め無 : $Nd0 = 8.6*5.8 = 49.88$						
1日当り消費量(L又はkWh)小数2位 : $Nd1 = 8.6*5.8 = 49.88$						
1日当り消費量(L又はkWh)整数止 : $Nd2 = 8.6*5.8 = 50$						
1日当り消費量(L又はkWh)有効2桁 : $Nd3 = 8.6*5.8 = 50$						
1日当り消費量(L又はkWh)小数1位 : $Nd4 = 8.6*5.8 = 49.9$						
損料表上の標準のT(h/日) : $T0 = 700/120*(1-\text{MIN}(0.1, 0)*10)+0 = 5.8$						
Tによる補正有無の判定用計算 : $Tj = 0/5.8 = 0$						
供用日当り運転時間(h/日) : $t = \text{if}(0==1, (0*5.8), \text{if}(1==1, \text{if}(1==1, 3.9, 3.9), 0)) = 3.9$						
損料表上の標準のt(h/日)小数1位 : $t0Z = 700/180*(1-\text{MIN}(0.1, 0)*10)+0 = 3.9$						
損料表上の標準のt(h/日)有効2桁 : $t0H = 700/180*(1-\text{MIN}(0.1, 0)*10)+0 = 3.9$						
tによる補正有無の判定用計算 : $tj = 0/(3.9*1+3.9*(1-1)) = 0$						
供用日数率 : $\alpha 2 = \text{if}(0==1, 1/0, \text{if}(0==1, 5.8/3.9, 180/120)) = 1.5$						
・1h当り運転日数(日/h) : $Sd = 1/5.8 = 0.17$						
・1h当り供用日数(供用日/h) : $Sdt = 1/3.9 = 0.26$						
運転1h当り換算損料 13欄から : $SnHa = \text{INT}(2430*(0/100+1)*10)/10 = 2430$						
運転1h当り換算損料 9・11欄から : $SnHb = \text{INT}((821*1+6270*1/3.9)*(0/100+1)*10)/10 = 2430$						
運転1h当り換算損料 指定13欄 : $SnHb2 = \text{INT}((0+6270*(1-1)/3.9)*(0/100+1)*10)/10 = 0$						
・運転1日当り換算損料(円/日) : $SnD = (14200*1+14100*(1-1))*1+14100*(1-1) = 14200$						
運転1日当り換算損料 15欄から : $SnDa = \text{INT}(9470*1.5*(0/100+1)*10)/10 = 14200$						
運転1日当り換算損料 9・11欄から : $SnDb = \text{INT}5.8((821*1+6270*1/3.9)*T*(0/100+1)*10)/10 = 14100$						
運転1h当り損料(円/h)丸め : $UgSa = \text{INT}(\text{if}(0==0, (7670000*107*10^{-6})), 0)*1*10)/10 = 821$						
供用1日当り損料(円/日)豪雪あり : $KnSa = \text{INT}(6270*1*1*10)/10 = 6270$						

# 単価表

バックホ(排対1次)  
クロー型・山積0.45m3(平積0.35m3)

( 10号単価表 )

1 時間当り

名 称 ・ 規 格	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要	備 考
供用1日当り損料(円/日)豪雪なし : $\text{KnSb} = 6270 \cdot \text{MIN}(0, 1) + 6270 \cdot (1 - \text{MIN}(0, 1)) = 6270$						
供用1日当り損料(円/日)特殊加減 : $\text{KnSc} = \text{INT}((7670000 \cdot 817 \cdot 10^{(-6)} \cdot 10) / 10) = 6270$						
供用1日当り損料(円/日)特殊加減 : $\text{KnSf} = \text{INT}((7670000 \cdot 817 \cdot 10^{(-6)} \cdot 10) / 10) = 6260$						
供用1日当り損料率(概算) ( $\cdot 10^6$ ) : $\text{Knr1} = 6270 / (7670 \cdot 1000) \cdot 10^6 = 817$						
供用1日損料切替(0=特殊加減なし) : $\text{KnSS} = (0 \cdot 0)^{(1/2)} = 0$						
補正後基礎価格(円/台)丸め : $\text{KKa} = \text{INT}((7670 \cdot 1000 + 0) \cdot 10) / 10 = 7670000$						
11欄に掛ける補正值(11欄丸め) : $\text{b1} = 1 \cdot 0 + 1 \cdot (1 - 0) = 1$						
11欄に掛ける補正值(13・15欄丸め) : $\text{b2} = 1 \cdot 0 + 1 \cdot (1 - 0) = 1$						
NEXCO独自損料(運転)(円/h)丸め : $\text{Ynx9} = \text{INT}(821 \cdot 1 \cdot (0 / 100 + 1) \cdot 10) / 10 = 821$						
NEXCO独自損料(供用)(円/供用日)丸め : $\text{Ynx11} = \text{INT}(6270 \cdot 1 \cdot (0 / 100 + 1) \cdot 10) / 10 = 6270$						
・NEXCO独自損料(調整金)(円/h) : $\text{YNXAh} = (2430 - \text{INT}(1 \cdot 821) - \text{INT}(0.26 \cdot 6270)) \cdot \text{if}(0 == 1, 1, 0) = 0$						
・NEXCO独自損料(調整金)(円/日) : $\text{YNXAD} = (14200 - \text{IN}5.8(\text{T} \cdot 821) - \text{INT}(1.5 \cdot 6270)) \cdot \text{if}(0 == 1, 1, 0) = 0$						
・1日当り賃料(円/日)(計算後) : $\text{RE} = 0 / \text{if}(0 == 1, 0, 1) = 0$						
・1日当り無償貸与機械評価額(円) : $\text{MKD} = 14200 - 0 = 14200$						
・1h当り無償貸与機械評価額(円/h) : $\text{MKK} = 2430 - 0 = 2430$						
1日当り無償貸与機械損料(円)丸め : $\text{KSDa} = \text{IN}5.8(0 \cdot \text{T} \cdot 10) / 10 = 0$						
1h当り無償貸与機械損料(円)丸め : $\text{KSEa} = \text{INT}((0 + 0) \cdot 10) / 10 = 0$						
1h当り現場修理費(円/h)丸め : $\text{HSEa} = \text{INT}(7670000 \cdot 0 \cdot 10^{(-6)} \cdot 10) / 10 = 0$						
1h当り管理費(円/h)丸め : $\text{HKEa} = \text{INT}(0 / 3.9 \cdot 10) / 10 = 0$						
供用1日当り管理費(円/日)丸め : $\text{DKEa} = \text{INT}(7670000 \cdot (0 \cdot 10^{(-6)}) \cdot 10) / 10 = 0$						
供用1日当り管理費率( $\cdot 10^{-6}$ ) : $\text{DKr} = ((0 / 100) / 360) \cdot 10^6 = 0$						
規格区分(山積m3)(絶対値) : $\text{NK} = (0.45 \cdot 0.45)^{(1/2)} = 0.45$						
規格区分(t吊)(絶対値) : $\text{NK2} = (0 \cdot 0)^{(1/2)} = 0$						
損料補正有無(総合)ベ-スマシ : $\text{SHT} = 0 + 0 + 0 + 0 + 0 = 0$						
損料補正有無(標準外のt) : $\text{SH2} = 1 - 1 = 0$						
損料補正有無(岩石作業) : $\text{SH3} = \text{if}(10 == 0, 1 - 1, \text{if}(0 == 1, 1 - 1, \text{if}(0 == 1, \text{if}(1 == 1.1, 1 - 1, 0), 0))) = 0$						
損料補正有無(豪雪補正) : $\text{SH4} = 1 - 1 = 0$						

( 10号单価表 )

[illegible][illegible]

大型ブレーカ BH山積0.8(排対3) 岩10%  
油圧式1300kg級

単価表

( 11号単価表 )

1 時間 当り

名 称 ・ 規 格	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要	備 考
運転手(特殊)(屋外補正対象外)	人	0.170	27,300	4,641		[R6.3]
軽油 ハートル給油	L	15	147	2,205		[CZ003000]
バックホ[排出ガス対策型(第3次基準値)][岩石補正+10%] クローラ型・山積0.8m3(平積0.6m3)超低騒音型	時間	1	5,320	5,320		[R6建設機械等損料表]
大型ブレーカ(ベースマシン含まず) 油圧式1300kg級	日	0.170	20,300	3,451		[R6建設機械等損料表] [0604-077-213-001]
計				15,617		
1 時間 当り				15,617		
供用損料に対する補正 : 単価管理で設定した損料を適用 ; 11欄に掛ける補正值:建設機械 (陸上)						
軽油 : 軽油 ; ハートル給油						
・一般又は特殊運転手(人/h) : Rh1 = if(0==1, 1/7, (1/MIN(7, 5.8))) = 0.17						
・一般又は特殊運転手(人/日) : Rd1 = if(0==1, 1, (1/MIN(7, 5.8)*5.8)) = 1						
1h当り消費量(L又はkWh)丸めなし : Nh0 = 104*0.144 = 14.976						
1h当り消費量(L又はkWh)有効2桁 : Nh1 = 104*0.144 = 15						
1h当り消費量(L又はkWh)整数止め : Nh2 = 104*0.144 = 15						
1日当り消費量(L又はkWh)丸め無 : Nd0 = 15*5.8 = 87						
1日当り消費量(L又はkWh)小数2位 : Nd1 = 15*5.8 = 87						
1日当り消費量(L又はkWh)整数止 : Nd2 = 15*5.8 = 87						
1日当り消費量(L又はkWh)有効2桁 : Nd3 = 15*5.8 = 87						
1日当り消費量(L又はkWh)小数1位 : Nd4 = 15*5.8 = 87						



大型バレーカ BH山積0.8(排対3) 岩10%  
油圧式1300kg級

単価表

( 11号単価表 )

1 時間 当り

名 称 ・ 規 格	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要	備 考
損料表上の標準のT(h/日) : $T0 = \text{if}(0==0, 700/120, 0) = 5.8$						
Tによる補正有無の判定用計算 : $Tj = 0/5.8 = 0$						
供用日当り運転時間(h/日) : $t = \text{if}(0==1, (0*5.8), \text{if}(1==1, \text{if}(0==1, 3.8888888888889, \text{if}(1==1, 3.9, 3.9)), 0)) = 3.9$						
損料表上の標準のt(h/日)小数1位 : $t0Z = \text{if}(0==0, 700/180, 0) = 3.9$						
損料表上の標準のt(h/日)有効2桁 : $t0H = \text{if}(0==0, 700/180, 0) = 3.9$						
損料表上の標準のt(h/日)丸め無し : $t0m = \text{if}(0==0, 700/180, 0) = 3.8888888888889$						
tによる補正有無の判定用計算 : $tj = 0/\text{if}(1==1, 3.9, 3.9) = 0$						
運転日数率 : $\alpha = \text{if}(0==1, 0, \text{if}(0==1, 3.9/5.8, \text{if}(1==1, 0.67, 0.67))) = 0.67$						
運転日数率(小数2位止め) : $\alpha Z = 120/180 = 0.67$						
運転日数率(有効2桁止め) : $\alpha H = 120/180 = 0.67$						
供用日数率 : $\alpha 2 = \text{if}(0==1, 1/0, \text{if}(0==1, 5.8/3.9, 180/120)) = 1.5$						
補助計算 : $\alpha Ab = \text{if}(0==1, 3.9/5.8, \text{if}(1==1, 0.54, 0.54)) = 0.54$						
アタッチメント運転日数率(小数2位止め) : $\alpha AZ = 70/130 = 0.54$						
アタッチメント運転日数率(有効2桁止め) : $\alpha AH = 70/130 = 0.54$						
アタッチメント供用日数率 : $\alpha A2 = \text{if}(0==1, 1/0, \text{if}(0==1, 5.8/3.9, 130/70)) = 1.86$						
・1h当り運転日数(日/h) : $Sda = 1/5.8 = 0.17$						
・1h当り運転日数(日/h)(発注者別指定丸め) : $Sdb = 1/5.8 = 0.172$						
・1h当り供用日数(供用日/h) : $Sdt = 1/3.9 = 0.26$						
運転1h当り換算損料 13欄から : $SnHa = \text{INT}(5320*(0/100+1)*10)/10 = 5320$						
運転1h当り換算損料 9・11欄から : $SnHb = \text{INT}((1740*1.1+13300*1/3.9)*(0/100+1)*10)/10 = 5320$						
運転1h当り換算損料 9・11欄から 工種指定 : $SnHc = \text{INT}((\text{INT}(1740*1.1)+\text{INT}(13300*1/3.9))*(0/100+1)*10)/10 = 5320$						
運転1h当り換算損料 指定13欄 : $SnHb2 = \text{INT}((0+13300*(1-1)/3.9)*(0/100+1)*10)/10 = 0$						
・運転1日当り換算損料(円/日) : $SnD = (31200*1+30900*(1-1))*1+30900*(1-1) = 31200$						
運転1日当り換算損料 15欄から : $SnDa = \text{INT}(20800*1.5*(0/100+1)*10)/10 = 31200$						
運転1日当り換算損料 9・11欄から : $SnDb = \text{INT}(5.8*((1740*1.1+13300*1/3.9)*T*(0/100+1)*10)/10 = 30900$						
運転1h当り損料(円/h)丸め : $UgSa = \text{INT}(16300000*107*10^(-6)*10)/10 = 1740$						
供用1日当り損料(円/日)豪雪あり : $KnSa = \text{INT}(13300*1*10)/10 = 13300$						
供用1日当り損料(円/日)豪雪なし : $KnSb = 13300*\text{MIN}(0, 1)+13300*(1-\text{MIN}(0, 1)) = 13300$						

大型バレーカ BH山積0.8(排対3) 岩10%  
油圧式1300kg級

単価表

( 11号単価表 )

1 時間当り

名 称 ・ 規 格	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要	備 考
供用1日当り損料(円/日)特殊加減 : KnSc = $\text{INT}((16300000*816*10^{(-6)}*10)/10 = 13300$						
供用1日当り損料率(概算) (*10 <sup>6</sup> ) : Knr = $13300/(16300*1000)*10^6 = 816$						
供用1日損料切替(0=特殊加減なし) : KnSS = $(0*0)^{(1/2)} = 0$						
NEXCO独自損料(運転)(円/h)丸め : Ynx9 = $\text{INT}(1740*1.1*(0/100+1)*10)/10 = 1910$						
NEXCO独自損料(供用)(円/供用日)丸め : Ynx11 = $\text{INT}(13300*1*(0/100+1)*10)/10 = 13300$						
・NEXCO独自損料(調整金)(円/h)計 : YNXAh = $0*0+0*0 = 0$						
NEXCO独自損料(調整金)(円/h)バックホのみ : YnxaH = $(5320-\text{INT}(1*1910)-\text{INT}(0.26*13300))*\text{if}(0==1,1,0) = 0$						
・NEXCO独自損料(調整金)(円/日)計 : YNXAD = $0*0+0*0 = 0$						
NEXCO独自損料(調整金)(円/日)バックホのみ : YnxaD = $(31200-\text{IN}5.8(T*1910)-\text{INT}(1.5*13300))*\text{if}(0==1,1,0) = 0$						
補正後基礎価格(円/台)丸め : KKa = $\text{INT}((16300*1000+0)*10)/10 = 16300000$						
11欄に掛ける補正值(11欄丸め) : b1 = $1*0+1*(1-0) = 1$						
11欄に掛ける補正值(13・15欄丸め) : b2 = $1*0+1*(1-0) = 1$						
運転1日当り換算損料 13欄から : snDa = $\text{INT}(20300*(0/100+1)*10)/10 = 20300$						
運転1日換算損料 9・11欄、α使用 : snDb = $\text{INT}((7970+6630*1/0.54)*(0/100+1)*10)/10 = 20200$						
運転1日換算損料 9・11欄、α2使用 : snDc = $\text{INT}((7970+6630*1*1.86)*(0/100+1)*10)/10 = 20300$						
供用1日当り損料(円/日)豪雪あり : knSa = $\text{INT}(6630*1*10)/10 = 6630$						
1h当り調整金(円/h) : snDB = $0*(20300/5.8-20300*0.17) = 0$						
NEXCO独自損料(運転)(円/日)丸め : ynx9 = $\text{INT}(7970*(0/100+1)*10)/10 = 7970$						
NEXCO独自損料(供用)(円/供用日)丸め : ynx11 = $\text{INT}(6630*1*(0/100+1)*10)/10 = 6630$						
・NEXCO独自損料(調整金)(円/h) : yNXAh = $\text{INT}(20300*\text{if}(0==1,0.17,0))- (0+0) = 0$						
補助計算1 : yNXs1 = $\text{INT}(7970*\text{if}(0==1,0.17,0)) = 0$						
補助計算2 : yNXs2 = $\text{INT}(6630*\text{if}(0==1,0.26,0*1.86)) = 0$						
・NEXCO独自損料(調整金)(円/日) : yNXAD = $(20300-7970-\text{INT}(6630*1.86))*\text{if}(0==1,1,0) = 0$						
・1日当り無償貸与機械評価額(円) : MKD = $31200-0 = 31200$						
・1h当り無償貸与機械評価額(円/h) : MKK = $5320-0 = 5320$						
1日当り無償貸与機械損料(円)丸め : KSda = $\text{IN}5.8(0*T*10)/10 = 0$						
1h当り無償貸与機械損料(円)丸め : KSEa = $\text{INT}((0+0)*10)/10 = 0$						
1h当り現場修理費(円/h)丸め : HSEa = $\text{INT}(16300000*0*10^{(-6)}*10)/10 = 0$						

大型バレーカ BH山積0.8(排対3) 岩10%  
油圧式1300kg級

単価表

( 11号単価表 )

1 時間当り

名 称 ・ 規 格	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要	備 考
1h当り管理費(円/h)丸め : $HKEa = INT(0/3.9*10)/10 = 0$						
供用1日当り管理費(円/日)丸め : $DKEa = INT(16300000*(0*10^{(-6)})*10)/10 = 0$						
供用1日当り管理費率( $*10^{-6}$ ) : $DKr = ((0/100)/360)*10^6 = 0$						
・アタッチメント1日当り無償貸与評価額 : $mKD = 20300-0 = 20300$						
アタッチメント1日当り貸与損料丸め : $kSDa = INT((0+0)*10)/10 = 0$						
アタッチメント1日当り現場修理費丸め : $hSEa = INT(6240*1000*0*10^{(-6)}*10)/10 = 0$						
アタッチメント1日当り管理費(円/日)丸め : $hKEa = INT(0/0.67*10)/10 = 0$						
アタッチメント供用1日当り管理費丸め : $dKEa = INT(6240*1000*(0*10^{(-6)})*10)/10 = 0$						
アタッチメント供用1日管理費率( $*10^{-6}$ ) : $dKr = ((0/100)/360)*10^6 = 0$						
規格区分(バックホウ)(絶対値) : $NK = (0.8*0.8)^{(1/2)} = 0.8$						
規格区分(アタッチメント)(絶対値) : $NK2 = (1300*1300)^{(1/2)} = 1300$						
損料補正有無(総合)ベースマシン : $SHT = 0+0+0+0+0+0 = 0$						
アタッチメント損料補正有無 : $sHT = 0+0+0 = 0$						
損料補正有無(標準外のt) : $SH2 = 1-1 = 0$						
損料補正有無(岩石作業) : $SH3 = if(10==0, 1, 1-1, if(0==1, if(1.1==1.1, 1, 1-1), 0), 0)) = 0$						
損料補正有無(豪雪補正) : $SH4 = 1-1 = 0$						
損料補正有無(特殊規格加減)ベース : $SH5 = (0*0)^{(1/2)} = 0$						

12号单価表

1 日 当 り

[illegible]

ダンプトラック 普通  
オンロード・デイスル・積載質量10t積級

単価表  
( 13号単価表 )

1 時間 当り

名 称 ・ 規 格	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要	備 考
運転手(一般)(屋外補正対象外)	人	0   170	24, 150	4, 106		[R6. 3]
軽油 小型ローリー・パトロール給油 2~4KL積載車	L	9   800	147	1, 441		
ダンプトラック オンロード・デイスル・積載質量10t積級	時間	1	4, 350	4, 350		[R6建設機械等損料表] [0301-011-110-001]
タイヤ損耗費及び補修費(1時間当り) ダンプトラック10t・普通	時間	1	259	259		[R6建設機械等損料表]
計				10, 156		
1 時間 当り				10, 156		

14号单価表

1 日 当 り

81 頁

( 15号单価表

1 日 当 り

82 頁

ダンプトラック 普通  
オンロード・ディーゼル・積載質量10t積級

単価表  
( 16号単価表 )

1 時間 当り

名 称 ・ 規 格	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要	備 考
運転手(一般)(屋外補正対象外)	人	0.170	24,150	4,106		[R6.3]
軽油 小型ローラー・パトロール給油 2~4KL積載車	L	9.800	147	1,441		
ダンプトラック オンロード・ディーゼル・積載質量10t積級	時間	1	4,350	4,350		[R6建設機械等損料表] [0301-011-110-001]
タイヤ損耗費及び補修費(1時間当り) ダンプトラック10t・普通	時間	1	259	259		[R6建設機械等損料表]
計				10,156		
1 時 間 当り				10,156		
供用損料に対する補正：単価管理で設定した損料を適用：軽油：軽油；パトロール給油						
・一般又は特殊運転手(人/h)：Rh1 = if(0==1, 1/7, (MIN(2, 1)/5.9)) = 0.17 ・一般又は特殊運転手(人/日)：Rd1 = if(0==1, 1, (MIN(2, 1)/5.9*5.9)) = 1						
1h当り消費量(L又はkWh)丸めなし：Nh0 = 246*0.04 = 9.84						
1h当り消費量(L又はkWh)有効2桁：Nh1 = 246*0.04 = 9.8						
1h当り消費量(L又はkWh)整数止め：Nh2 = 246*0.04 = 10						
・1日当り消費量(L又はkWh)：Nd = 57.82*1+58*0+58*0+57.8*0 = 57.82						
1日当り消費量(L又はkWh)丸め無：Nd0 = 9.8*5.9 = 57.82						
1日当り消費量(L又はkWh)小数2位：Nd1 = 9.8*5.9 = 57.82						
1日当り消費量(L又はkWh)整数止：Nd2 = 9.8*5.9 = 58						
1日当り消費量(L又はkWh)有効2桁：Nd3 = 9.8*5.9 = 58						



ダンプトラック 普通  
オンロード・デイスール・積載質量10t積級

## 単価表

( 16号単価表 )

1 時間当り

名 称 ・ 規 格	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要	備 考
1日当り消費量(L又はkWh)小数1位 : $Nd4 = 9.8 \times 5.9 = 57.8$						
損料表上の標準のT(h/日) : $T0 = \text{if}(0==0, 830/140, 0) = 5.9$						
Tによる補正有無の判定用計算 : $Tj = 0/5.9 = 0$						
供用日当り運転時間(h/日) : $t = \text{if}(0==1, (0 \times 5.9), \text{if}(1==1, 4.6, 0)) = 4.6$						
損料表上の標準のt(h/日)小数1位 : $t0Z = \text{if}(0==0, 830/180, 0) = 4.6$						
損料表上の標準のt(h/日)有効2桁 : $t0H = \text{if}(0==0, 830/180, 0) = 4.6$						
tによる補正有無の判定用計算 : $tj = 0/4.6 = 0$						
供用日数率 : $\alpha 2 = \text{if}(0==1, 1/0, \text{if}(0==1, 5.9/4.6, 180/140)) = 1.29$						
・1h当り運転日数(日/h) : $Sd = 1/5.9 = 0.17$						
・1日当り損耗費時間(h/日) : $Sdd = 0 \times 5.9 = 0$						
・1h当り供用日数(供用日/h) : $Sdt = 1/4.6 = 0.22$						
・(13欄 補正後)運転1h当り換算損料 : $SnH = 4330 \times 1 + 4340 \times (1-1) = 4330$						
運転1h当り換算損料 13欄から : $SnHa = \text{INT}(4330 \times (0/100+1) \times 10) / 10 = 4330$						
運転1h当り換算損料 9・11欄から : $SnHb = \text{INT}((1430 \times 1 \times 1 + 13400 \times 1/4.6) \times (0/100+1) \times 10) / 10 = 4340$						
・運転1日当り換算損料(円/日) : $SnD = (25800 \times 1 + 25600 \times (1-1)) \times 1 + 25600 \times (1-1) = 25800$						
運転1日当り換算損料 15欄から : $SnDa = \text{INT}(20000 \times 1.29 \times (0/100+1) \times 10) / 10 = 25800$						
運転1日当り換算損料 9・11欄から : $SnDb = \text{INT}(5.9 \times ((1430 \times 1 \times 1 + 13400 \times 1/4.6) \times T \times (0/100+1) \times 10) / 10 = 25600$						
運転1h当り損料(円/h)丸め : $UgSa = \text{INT}(\text{if}(0==0, (14000000 \times 102 \times 10^{(-6)}), 0) \times 1 \times 10) / 10 = 1430$						
供用1日当り損料(円/日)豪雪あり : $KnSa = \text{INT}(13400 \times 1 \times 1 \times 10) / 10 = 13400$						
供用1日当り損料(円/日)豪雪なし : $KnSb = 13400 \times 0 + 13400 \times (1-0) = 13400$						
供用1日当り損料(円/日)特殊加減 : $KnSc = \text{INT}(14000000 \times 957 \times 10^{(-6)} \times 10) / 10 = 13400$						
供用1日当り損料率(概算) (*10 <sup>6</sup> ) : $KnR = 13400 / (14000 \times 1000) \times 10^6 = 957$						
NEXCO独自損料(運転)(円/h)丸め : $Ynx9 = \text{INT}(1430 \times 1 \times (0/100+1) \times 10) / 10 = 1430$						
NEXCO独自損料(供用)(円/供用日)丸め : $Ynx11 = \text{INT}(13400 \times 1 \times (0/100+1) \times 10) / 10 = 13400$						
・NEXCO独自損料(調整金)(円/h) : $YNXAh = (4330 - \text{INT}(1 \times 1430) - \text{INT}(0.22 \times 13400)) \times \text{if}(0==1, 1, 0) = 0$						
・NEXCO独自損料(調整金)(円/日) : $YNXAD = (25800 - \text{INT}(5.9 \times (1 \times 1430) - \text{INT}(1.29 \times 13400))) \times \text{if}(0==1, 1, 0) = 0$						
補正後基礎価格(円/台)丸め : $KKa = \text{INT}((14000 \times 1000 + 0) \times 10) / 10 = 14000000$						
11欄に掛ける補正值(11欄丸め) : $b1 = 1 \times 0 + 1 \times (1-0) = 1$						

ダンプトラック 普通  
オンロード・デイスル・積載質量10t積級

単価表

( 16号単価表 )

1 時間 当り

名 称 ・ 規 格	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要	備 考
11欄に掛ける補正值(13・15欄丸め)： $b2 = 1*0+1*(1-0) = 1$						
・1日当り賃料(円/日)(計算後)： $RE = 0/if(0==1, 0, 1) = 0$						
・1日当り無償貸与機械評価額(円)： $MKD = 25800-3000 = 22800$						
・1h当り無償貸与機械評価額(円/h)： $MKK = 4330-509 = 3821$						
1日当り無償貸与機械損料(円)丸め： $KSDa = INT(5.9(509*T*10)/10) = 3000$						
1h当り無償貸与機械損料(円)丸め： $KSEa = INT((0+508.6)*10)/10 = 509$						
1h当り現場修理費(円/h)丸め： $HSEa = INT(14000000*0*10^(-6)*10)/10 = 0$						
1h当り管理費(円/h)丸め： $HKEa = INT(2340/4.6*10)/10 = 508.6$						
供用1日当り管理費(円/日)丸め： $DKEa = INT(14000000*(167*10^(-6))*10)/10 = 2340$						
供用1日当り管理費率( $*10^{-6}$ )： $DKr = ((6/100)/360)*10^6 = 167$						
タイヤ損耗費(良好)(h/h)： $S2a = 0/0 = 0$						
タイヤ損耗費(普通)(h/h)： $S2b = 0/0 = 0$						
タイヤ損耗費(不良)(h/h)： $S2c = 0/0 = 0$						
運搬距離計： $L = 0+0+0 = 0$						
損料補正有無(総合)： $SHT = 0+0+0+0+0+0 = 0$						
損料補正有無(交替作業)： $SH1 = 1-1 = 0$						
損料補正有無(標準外のt)： $SH2 = 1-1 = 0$						
損料補正有無(岩石作業)： $SH3 = if(10==0, 1-1, if(1==1, if(1==1.25, 0, 1-1), 1-1)) = 0$						
損料補正有無(豪雪補正)： $SH4 = 1-1 = 0$						
損料補正有無(特殊規格加減算)： $SH5 = (0*0)^(1/2) = 0$						
規格区分(絶対値)： $NK = (10*10)^(1/2) = 10$						
路面状態区分： $GF = 2+(if(10==11, 10, 10)*100) = 1002$						

17号单価表

1 日 当 り

86 頁

振動ロー(賃料)  
0.5~0.6t

単価表  
( 18号単価表 )

1 日 当 り

名 称 ・ 規 格	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要	備 考
特殊作業員	人	1	26,985	26,985		[R6.3]
軽油 小型ロー・パトロール給油 2~4KL積載車	L	12	147	1,764		
振動ロー・ハット式(賃貸)(長期割引あり) 0.5~0.6t	台/日	1710	2,390	4,087		
計				32,836		
1 日 当 り				32,836		

( 19号单価表 )

1 日 当 り

88 頁

ダンプトラック 普通  
オンロード・ディーゼル・積載質量10t積級

単価表  
( 20号単価表 )

1 時間 当り

名 称 ・ 規 格	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要	備 考
運転手(一般)(屋外補正対象外)	人	0.170	24,150	4,106		[R6.3]
軽油 小型ローラー・パトロール給油 2~4KL積載車	L	9.800	147	1,441		
ダンプトラック オンロード・ディーゼル・積載質量10t積級	時間	1	4,350	4,350		[R6建設機械等損料表] [0301-011-110-001]
タイヤ損耗費及び補修費(1時間当り) ダンプトラック10t・普通	時間	1	259	259		[R6建設機械等損料表]
計				10,156		
1 時 間 当り				10,156		
供用損料に対する補正：単価管理で設定した損料を適用： 軽油：軽油；パトロール給油						
・一般又は特殊運転手(人/h)：Rh1 = if(0==1, 1/7, (MIN(2, 1)/5.9)) = 0.17 ・一般又は特殊運転手(人/日)：Rd1 = if(0==1, 1, (MIN(2, 1)/5.9*5.9)) = 1						
1h当り消費量(L又はkWh)丸めなし：Nh0 = 246*0.04 = 9.84						
1h当り消費量(L又はkWh)有効2桁：Nh1 = 246*0.04 = 9.8						
1h当り消費量(L又はkWh)整数止め：Nh2 = 246*0.04 = 10						
・1日当り消費量(L又はkWh)：Nd = 57.82*1+58*0+58*0+57.8*0 = 57.82						
1日当り消費量(L又はkWh)丸め無：Nd0 = 9.8*5.9 = 57.82						
1日当り消費量(L又はkWh)小数2位：Nd1 = 9.8*5.9 = 57.82						
1日当り消費量(L又はkWh)整数止：Nd2 = 9.8*5.9 = 58						
1日当り消費量(L又はkWh)有効2桁：Nd3 = 9.8*5.9 = 58						

ダンプトラック 普通  
オンロード・デイスール・積載質量10t積級

## 単価表

( 20号単価表 )

1 時間当り

名 称 ・ 規 格	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要	備 考
1日当り消費量(L又はkWh)小数1位 : $Nd4 = 9.8 \times 5.9 = 57.8$						
損料表上の標準のT(h/日) : $T0 = \text{if}(0==0, 830/140, 0) = 5.9$						
Tによる補正有無の判定用計算 : $Tj = 0/5.9 = 0$						
供用日当り運転時間(h/日) : $t = \text{if}(0==1, (0 \times 5.9), \text{if}(1==1, 4.6, 0)) = 4.6$						
損料表上の標準のt(h/日)小数1位 : $t0Z = \text{if}(0==0, 830/180, 0) = 4.6$						
損料表上の標準のt(h/日)有効2桁 : $t0H = \text{if}(0==0, 830/180, 0) = 4.6$						
tによる補正有無の判定用計算 : $tj = 0/4.6 = 0$						
供用日数率 : $\alpha 2 = \text{if}(0==1, 1/0, \text{if}(0==1, 5.9/4.6, 180/140)) = 1.29$						
・1h当り運転日数(日/h) : $Sd = 1/5.9 = 0.17$						
・1日当り損耗費時間(h/日) : $Sdd = 0 \times 5.9 = 0$						
・1h当り供用日数(供用日/h) : $Sdt = 1/4.6 = 0.22$						
・(13欄 補正後)運転1h当り換算損料 : $SnH = 4350 \times 1 + 4360 \times (1-1) = 4350$						
運転1h当り換算損料 13欄から : $SnHa = \text{INT}(4350 \times (0/100+1) \times 10) / 10 = 4350$						
運転1h当り換算損料 9・11欄から : $SnHb = \text{INT}((1380 \times 1 \times 1 + 13700 \times 1/4.6) \times (0/100+1) \times 10) / 10 = 4360$						
・運転1日当り換算損料(円/日) : $SnD = (25900 \times 1 + 25700 \times (1-1)) \times 1 + 25700 \times (1-1) = 25900$						
運転1日当り換算損料 15欄から : $SnDa = \text{INT}(20100 \times 1.29 \times (0/100+1) \times 10) / 10 = 25900$						
運転1日当り換算損料 9・11欄から : $SnDb = \text{INT}(5.9 \times ((1380 \times 1 \times 1 + 13700 \times 1/4.6) \times T \times (0/100+1) \times 10) / 10 = 25700$						
運転1h当り損料(円/h)丸め : $UgSa = \text{INT}(\text{if}(0==0, (14400000 \times 96 \times 10^{(-6)}), 0) \times 1 \times 10) / 10 = 1380$						
供用1日当り損料(円/日)豪雪あり : $KnSa = \text{INT}(13700 \times 1 \times 1 \times 10) / 10 = 13700$						
供用1日当り損料(円/日)豪雪なし : $KnSb = 13700 \times 0 + 13700 \times (1-0) = 13700$						
供用1日当り損料(円/日)特殊加減 : $KnSc = \text{INT}(14400000 \times 951 \times 10^{(-6)} \times 10) / 10 = 13700$						
供用1日当り損料率(概算) (*10 <sup>6</sup> ) : $KnR = 13700 / (14400 \times 1000) \times 10^6 = 951$						
NEXCO独自損料(運転)(円/h)丸め : $Ynx9 = \text{INT}(1380 \times 1 \times (0/100+1) \times 10) / 10 = 1380$						
NEXCO独自損料(供用)(円/供用日)丸め : $Ynx11 = \text{INT}(13700 \times 1 \times (0/100+1) \times 10) / 10 = 13700$						
・NEXCO独自損料(調整金)(円/h) : $YNXAh = (4350 - \text{INT}(1 \times 1380) - \text{INT}(0.22 \times 13700)) \times \text{if}(0==1, 1, 0) = 0$						
・NEXCO独自損料(調整金)(円/日) : $YNXAD = (25900 - \text{INT}(5.9 \times (1 \times 1380) - \text{INT}(1.29 \times 13700))) \times \text{if}(0==1, 1, 0) = 0$						
補正後基礎価格(円/台)丸め : $KKa = \text{INT}((14400 \times 1000 + 0) \times 10) / 10 = 14400000$						
11欄に掛ける補正值(11欄丸め) : $b1 = 1 \times 0 + 1 \times (1-0) = 1$						

ダンプトラック 普通  
オンロード・デイスール・積載質量10t積級

## 単価表

( 20号単価表 )

1 時間当り

名 称 ・ 規 格	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要	備 考
11欄に掛ける補正值(13・15欄丸め) : $b2 = 1*0+1*(1-0) = 1$						
・1日当り賃料(円/日)(計算後) : $RE = 0/if(0==1, 0, 1) = 0$						
・1日当り無償貸与機械評価額(円) : $MKD = 25900-3080 = 22820$						
・1h当り無償貸与機械評価額(円/h) : $MKK = 4350-522 = 3828$						
1日当り無償貸与機械損料(円)丸め : $KSDa = INT(5.9(522*T*10)/10) = 3080$						
1h当り無償貸与機械損料(円)丸め : $KSEa = INT((0+521.7)*10)/10 = 522$						
1h当り現場修理費(円/h)丸め : $HSEa = INT(14400000*0*10^{(-6)*10}/10) = 0$						
1h当り管理費(円/h)丸め : $HKEa = INT(2400/4.6*10)/10 = 521.7$						
供用1日当り管理費(円/日)丸め : $DKEa = INT(14400000*(167*10^{(-6)})*10)/10 = 2400$						
供用1日当り管理費率( $*10^{-6}$ ) : $DKr = ((6/100)/360)*10^6 = 167$						
タイヤ損耗費(良好)(h/h) : $S2a = 0/0 = 0$						
タイヤ損耗費(普通)(h/h) : $S2b = 0/0 = 0$						
タイヤ損耗費(不良)(h/h) : $S2c = 0/0 = 0$						
運搬距離計 : $L = 0+0+0 = 0$						
損料補正有無(総合) : $SHT = 0+0+0+0+0+0 = 0$						
損料補正有無(交替作業) : $SH1 = 1-1 = 0$						
損料補正有無(標準外のt) : $SH2 = 1-1 = 0$						
損料補正有無(岩石作業) : $SH3 = if(10==0, 1-1, if(1==1, if(1==1.25, 0, 1-1), 1-1)) = 0$						
損料補正有無(豪雪補正) : $SH4 = 1-1 = 0$						
損料補正有無(特殊規格加減算) : $SH5 = (0*0)^{(1/2)} = 0$						
規格区分(絶対値) : $NK = (10*10)^{(1/2)} = 10$						
路面状態区分 : $GF = 2+(if(10==11, 10, 10)*100) = 1002$						



( 21号单価表 )

1 日 当 り

92 頁

( 22号单価表 )

1 時間当り

[illegible]

( 23号单価表 )

[illegible]

94 頁